2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
現代文明論	高校現代文明論	単位数：1単位 ［標準単位：1単位］	年間	

指導目標

自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主導・人格主義に基づいた思想を培う。

スクーリング	全　5　回	面接指導：　5　回 講　　義：　　回	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論
レポート	全　5　回	添削指導：　5　回 そ の 他：　　回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学　　期：　　回	副教材	配布プリント　など
定期試験評価割合	％		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	5/9	金	学習テーマ：現代文明論とは［校長講話］ ・高校現代文明論の成り立ちと高校現代文明論で学ぶことを理解する	○		第1回(5/30)
2	10/3	金	学習テーマ：建学の精神と東海大学の学び ・建学の精神、東海大学の学び、思想を培う	○		第2回(10/31)
3	11/21	金	学習テーマ：松前重義とさまざまな人たちとの出会い ・人との出会い、かかわり方について考える	○		第3回(11/28)
4	11/28	金	学習テーマ：持続可能な社会の実現に向けて （住み続けられるまちづくり） ・住んでいる地域の現状について理解し、国内の他の地方と比較してどのような問題点があるのかを理解する。	○		第4回(1/16)
5	1/16	金	学習テーマ：持続可能な社会の実現に向けて （住み続けられるまちづくり） ・住みやすい地域づくりに向け、自ら見つけ出した問題点について、多面的・多角的な視点や考え方を用い改善案を立案する。	○		第5回(1/30)

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
国語	現代の国語	単位数：3 単位 ［標準単位：2 単位］	年間	水田　　薫

指導目標
1．　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2．　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3．　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 54 回	面接指導：　12 回 講　義　：　29 回	教科書	第一学習社　高等学校「現代の国語」
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	大修館書店　国語便覧 適宜ワークシート、プリントを使用
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	教科書の構成と使い方（「現代の国語」ガイダンス）		○	第 1 回(5/13)
2	4/22	火	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉①		○	
3	4/24	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉②		○	
4	5/1	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉③		○	
5	5/8	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉④	○		
6	5/13	火	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉⑤	○		
7	5/15	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉⑥(添削指導)			
8	5/20	火	『羅生門』①		○	第 2 回(5/29)
9	5/22	木	『羅生門』②		○	
10	5/27	火	『羅生門』③		○	
11	5/29	木	『羅生門』④		○	
12	6/3	火	『羅生門』⑤(添削指導)			
13	6/10	火	『羅生門』⑥		○	第 3 回(6/19)
14	6/12	木	『羅生門』⑦	○		
15	6/17	火	『羅生門』⑧	○		
16	6/19	木	『羅生門』⑨		○	
17	6/24	火	『羅生門』⑩(添削指導)			
18	6/26	木	文学のしるべ(文学史―近代の小説・芥川龍之介)		○	
19	6/30	月	期末試験			第 4 回(9/9)
20	8/26	火	『水の東西』〈比較文学〉①		○	
21	8/28	木	『水の東西』〈比較文学〉②		○	
22	9/2	火	『水の東西』〈比較文学〉③	○		
23	9/4	木	『水の東西』〈比較文学〉④	○		
24	9/9	火	『水の東西』〈比較文学〉⑤		○	
25	9/11	木	『水の東西』〈比較文学〉⑥(添削指導)			
26	9/16	火	『ものとことば』〈言語〉①		○	第 5 回(9/30)
27	9/18	火	『ものとことば』〈言語〉②		○	
28	9/25	木	『ものとことば』〈言語〉③		○	
29	9/30	火	『ものとことば』〈言語〉④		○	

30	10/2	木	『ものとことば』〈言語〉⑤(添削指導)			
31	10/7	火	中間試験			
32	10/14	火	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』①	○		第6回(10/21)
33	10/16	木	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』②	○		
34	10/21	火	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』③		○	
35	10/23	木	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』④(添削指導)			
36	10/28	火	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』⑤		○	第7回(10/30)
37	10/30	木	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』⑥		○	
38	11/6	木	『砂に埋もれたル・コルビジュエ』⑦(添削指導)			
39	11/11	火	『現代の「世論操作」』①	○		第8回(11/25)
40	11/13	木	『現代の「世論操作」』②	○		
41	11/18	火	『現代の「世論操作」』③		○	
42	11/20	木	『現代の「世論操作」』④		○	
43	11/25	火	『現代の「世論操作」』⑤		○	
44	11/27	木	『現代の「世論操作」』⑥(添削指導)			
45	12/2	火	【事実と意見】「私作り」とプライバシー		○	
46	12/3	水	期末試験			
47	1/13	火	『不均等な時間』①		○	第9回(2/3)
48	1/20	火	『不均等な時間』②	○		
49	1/27	火	『不均等な時間』③	○		
50	2/3	火	『不均等な時間』④		○	
51	2/10	火	『不均等な時間』⑤(添削指導)			
52	2/17	火	表現編「話して伝える」		○	
53	2/24	火	表現編「書いて伝える」		○	
54	3/2	月	学年末試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
国語	言語文化	単位数：3 単位 ［標準単位：2 単位］	年間	穴水　麻衣

指導目標

1.　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

2.　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3.　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　6 回 講　義　：34 回	教科書	第一学習社　高等学校「言語文化」
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	大修館書店　国語便覧 適宜ワークシート、プリントを使用
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/14	月	教科書の構成と使い方・古文の学習(「言語文化」ガイダンス)		○	第 1 回(5/12)
2	4/21	月	古文を読むために 1		○	
3	4/25	金	古文を読むために 2		○	
4	5/9	金	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	○		
5	5/12	月	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」		○	
6	5/16	金	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」(添削指導)			
7	5/19	月	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	第 2 回(6/2)
8	5/23	金	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	
9	5/26	月	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	
10	5/30	金	歌物語　『伊勢物語』「東下り」		○	
11	6/2	月	歌物語　『伊勢物語』「東下り」		○	
12	6/6	金	歌物語　『伊勢物語』「東下り」(添削指導)			
13	6/9	月	歌物語　『伊勢物語』「東下り」		○	第 3 回(6/23)
14	6/13	金	古文を読むために 3		○	
15	6/16	月	随筆㈠　『枕草子』「春は、あけぼの」	○		
16	6/20	金	随筆㈠　『枕草子』「春は、あけぼの」		○	
17	6/23	月	随筆㈠　『枕草子』「はしたなきもの」		○	
18	6/27	金	随筆㈠　『枕草子』「はしたなきもの」(添削指導)			
19	6/30	月	期末試験			第 4 回(9/5)
20	8/25	月	古文を読むために 4		○	
21	8/29	金	随筆㈡　『徒然草』「つれづれなるままに」(序段)		○	
22	9/1	月	随筆㈡　『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」	○		
23	9/5	金	随筆㈡　『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」		○	
24	9/8	月	随筆㈡　『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」(添削指導)			
25	9/12	金	軍記物語　『平家物語』「祇園精舎」		○	第 5 回(9/29)
26	9/19	金	軍記物語　『平家物語』「祇園精舎」		○	
27	9/22	月	軍記物語　『平家物語』「祇園精舎」		○	
28	9/26	金	古典の詩歌　『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	

29	9/29	月	古典の詩歌　『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	
30	10/3	金	古典の詩歌　『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』(添削指導)			
31	10/6	月	古典の詩歌　『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	第6回(10/24)
32	10/7	火	中間試験			
33	10/17	金	古典の詩歌　『奥の細道』「旅立ち」		○	
34	10/20	月	古典の詩歌　『奥の細道』「旅立ち」		○	
35	10/24	金	古典の詩歌　『奥の細道』「旅立ち」	○		
36	10/27	月	古典の詩歌　『奥の細道』「平泉」(添削指導)			
37	10/31	金	古典の詩歌　『奥の細道』「平泉」		○	第7回(11/14)
38	11/7	金	古典の詩歌　『奥の細道』「平泉」		○	
39	11/10	月	近現代の詩歌　「その子二十」「こころの帆」		○	
40	11/14	金	近現代の詩歌　「その子二十」「こころの帆」		○	
41	11/17	月	近現代の詩歌　「その子二十」「こころの帆」(添削指導)			
42	11/21	金	漢文入門　「訓読に親しむ㈠」「漢文を読むために1」		○	
43	11/28	金	漢文入門　「訓読に親しむ㈡」「漢文を読むために2」		○	第8回(1/16)
44	12/1	月	漢文入門　「訓読に親しむ㈢」「漢文を読むために3」	○		
45	12/3	水	期末試験			
46	1/9	金	漢文入門　まとめ　「学習の手引き」		○	
47	1/16	金	故事成語　「狐借虎威」		○	
48	1/19	月	故事成語　「狐借虎威」(添削指導)			
49	1/23	金	故事成語　「蛇足」		○	第9回(2/13)
50	2/2	月	故事成語　「蛇足」		○	
51	2/13	金	漢詩　唐詩の世界　「春暁」「江雪「江南春」	○		
52	2/27	金	漢詩　唐詩の世界　「静夜思」「春望」(添削指導)			
53	3/2	月	学年末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
公民	公共	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	横山　康輔

指導目標

1. 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸問題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身につける。
2. 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
3. よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	第一学習社　新公共
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	第１編　公共の扉　第１章　公共的な空間をつくる私たち １．社会に生きる私たち		○	第１回(5/13)
2	4/22	火	２．個人の尊厳と自主・自律		○	
3	4/24	木	３．多様性と共通性		○	
4	5/8	木	４．伝統文化とのかかわり	○		
5	5/13	火	５．自立した主体をめざして		○	
6	5/15	木	公共的な空間をつくる私たち（添削指導）			
7	5/20	火	第２章　公共的な空間における人間としての在り方生き方 １．人間と社会の在り方についての見方・考え方		○	第２回(6/3)
8	5/22	木	第３章　公共的な空間における基本的原理 １．人間の尊厳と平等、個人の尊重		○	
9	5/27	火	２．民主主義と法の支配		○	
10	5/29	木	３．自由・権利と責任・義務		○	
11	6/3	火	４．日本国憲法に生きる基本原理		○	
12	6/10	火	公共的な空間における基本原理（添削指導）			
13	6/12	木	第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第１章　法的な主体となる私たち 主題１　法や規範の意義と役割　１．私たちと法	○		第３回(6/24)
14	6/17	火	２．法と基本的人権		○	
15	6/19	木	３．自由に生きる権利と法・規範		○	
16	6/24	火	４．平等に生きる権利と法・規範		○	
17	6/26	木	法や規範の意義と役割（添削指導）			
18	6/30	月	定期試験			
19	8/26	火	主題３　司法参加の意義 １．裁判所と司法		○	第４回(9/9)

20	8/28	木	２．国民の司法参加		○	
21	9/2	火	第２章　政治的な主体となる私たち 主題４　政治参加と公正な世論形成 １．私たちと選挙	○		
22	9/4	木	２．選挙の現状と課題		○	
23	9/9	火	３．世論の形成と政治参加		○	
24	9/11	木	司法参加の意義（添削指導）			
25	9/16	火	４．国会と立法		○	第５回(9/25)
26	9/18	木	５．内閣と行政		○	
27	9/25	木	６．地方自治と住民福祉		○	
28	9/30	火	政治参加と公正な世論形成（添削指導）			
29	10/7	火	定期試験			
30	10/14	火	主題５　国際社会と国家主権 １．国家と国際法		○	第６回(10/28)
31	10/16	木	２．国境と領土問題		○	
32	10/21	火	３．国際連合の役割と課題	○		
33	10/23	木	主題６　日本の安全保障と防衛 １．平和主義と安全保障		○	
34	10/28	火	２．日本の安全保障体制の変容		○	
35	11/4	火	国際社会と国家主権（添削指導）			
36	11/6	木	３．核兵器の廃絶と国際平和		○	第７回(11/18)
37	11/11	火	主題７　国際社会の変化と日本の役割 １．今日の国際社会		○	
38	11/13	木	２．人種・民族問題と地域紛争		○	
39	11/18	火	３．国際社会における日本の役割		○	
40	11/20	木	日本の安全保障と防衛（添削指導）			
41	12/3	水	定期試験			
42	1/13	火	第３章　経済的な主体となる私たち 主題９　社会の変化と職業観 １．日本経済のこれまでとこれから		○	第８回(1/27)
43	1/15	木	２．技術革新の進展		○	
44	1/20	火	３．現代の企業	○		
45	1/22	木	４．中小企業の現状と役割		○	
46	1/27	火	５．日本の農林水産業		○	
47	1/29	木	社会の変化と職業観（添削指導）			
48	2/3	火	主題１３　経済のグローバル化 １．国際分業と貿易		○	第９回(2/19)
49	2/5	木	２．国際収支と国際経済体制		○	
51	2/12	木	３．外国為替相場の動き	○		
51	2/19	木	４．グローバル化する経済		○	
52	2/26	木	経済のグローバル化（添削指導）			
53	3/2	月	定期試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
数学	数学Ⅰ	単位数：3単位 ［標準単位：3単位］	年間	小竹森　俊広

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
3. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	新高校の数学Ⅰ
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	新課程　新高校の数学Ⅰ対応 教科書学習ノート　数学Ⅰ
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス	○		第1回(5/8)
2	4/22	火	正の数・負の数、分数の計算		○	
3	4/24	木	計算の順序		○	
4	5/1	木	単項式、多項式		○	
5	5/8	木	単項式の整理		○	
6	5/13	火	指数法則（添削指導）			
7	5/15	木	展開		○	第2回(6/3)
8	5/20	火	展開の公式		○	
9	5/22	木	因数分解		○	
10	5/27	火	因数分解の公式		○	
11	6/3	火	たすきがけの因数分解	○		
12	6/10	火	展開、因数分解の応用（添削指導）			
13	6/12	木	平方根の性質		○	第3回(8/28)
14	6/17	火	平方根の計算		○	
15	6/30	月	１学期期末試験			
16	7/9	水	試験返却		○	
17	8/28	木	平方根の展開の計算		○	
18	9/4	木	分母の有理化（添削指導）			
19	9/9	火	実数		○	第4回(9/18)
20	9/11	木	1次方程式		○	
21	9/16	火	1次不等式		○	
22	9/18	木	連立不等式		○	
23	9/25	木	不等式の応用（添削指導）			
24	9/30	火	三平方の定理			
25	10/2	木	三角比の定義		○	第5回(10/16)
26	10/7	火	２学期中間試験	○		

27	10/14	火	試験返却		○	
28	10/16	木	三角比の利用①		○	
29	10/21	火	三角比の利用②（添削指導）			
30	10/23	木	三角比の利用③（校舎の高さを計算する）	○		第６回(11/11)
31	10/28	火	三角比の相互関係①		○	
32	10/30	木	三角比の相互関係②		○	
33	11/6	木	三角比の相互関係③		○	
34	11/12	水	正弦定理①		○	
35	11/13	木	正弦定理②（添削指導）			
36	11/18	火	余弦定理①		○	第７回(12/12)
37	11/20	木	余弦定理②		○	
38	11/25	火	三角形の面積		○	
39	12/3	水	２学期期末試験			
40	12/12	金	試験返却		○	
41	1/13	火	三角比の応用（添削指導）			
42	1/15	木	集合の定義	○		第８回(1/29)
43	1/20	火	和集合と共通部分		○	
44	1/22	木	補集合		○	
45	1/27	火	集合とベン図		○	
46	1/29	木	ド・モルガンの法則		○	
47	2/3	火	集合を用いた文章題への応用（添削指導）			
48	2/5	木	命題の定義	○		第９回(2/17)
49	2/12	木	命題と集合		○	
51	2/17	火	命題の真偽		○	
51	2/19	木	必要条件・十分条件（添削指導）			
52	3/2	月	学年末試験			
53	3/11	水	試験返却		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
理科	科学と人間生活	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	川澄　剛

指導目標

自然の事物や現象を科学的に探究するために、次の項目にしたがって必要な見方や考え方の向上を目指す。

1. 基本的な概念や原理・原則を理解し、日常生活と科学のつながりについて関心や探究心を高め、科学的な視点で物事を捉える力を養う。
2. さまざまな物質について、構造や反応性を学ぶとともに、それらが身の回りでどのように利用されているか判断できる力を養う。
3. 自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味と関心を持つことで、未来の社会に活かせる思考力を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　24回 講　義　：　16回	教科書	高等学校　科学と人間生活
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス　科学技術の発展	○		第1回(5/9)
2	4/14	月	第Ⅱ章　生命の科学　第1節　ヒトの生命現象 1　タンパク質のはたらきと構造	○		
3	4/21	月	2　遺伝子とＤＮＡ	○		
4	4/25	金	3　タンパク質の合成①		○	
5	4/28	月	3　タンパク質の合成②	○		
6	5/9	金	4　血糖濃度の調節①［添削指導］			
7	5/12	月	4　血糖濃度と調節②	○		第2回(6/2)
8	5/16	金	5　血糖濃度と糖尿病		○	
9	5/19	月	6　病原体の排除（1）		○	
10	5/23	金	7　病原体の排除（2）	○		
11	5/26	月	8　ヒトの視覚（1）		○	
12	5/30	金	9　ヒトの視覚（2）	○		
13	6/2	月	第Ⅰ章　物質の科学　第1節　材料とその利用 1　プラスチックの特徴　［添削指導］			
14	6/6	金	2　プラスチックの分類と用途（1）		○	第3回(6/27)
15	6/9	月	3　プラスチックの分類と用途（2）	○		
16	6/13	金	4　さまざまなプラスチック		○	
17	6/16	月	5　金属と人間生活	○		
18	6/20	金	6　金属とその精錬（1）7　金属とその精錬（2）		○	
19	6/23	月	8　金属のさびと合金		○	
20	6/27	金	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
21	6/30	月	１学期　期末試験			第4回(9/19)
22	8/25	月	9　資源の再利用（1）		○	
23	8/29	金	１０　資源の再利用（2）	○		
24	9/1	月	第Ⅲ章　熱や光の科学　第1節　熱の性質とその利用	○		
25	9/8	月	1　温度と熱運動			

26	9/12	金	2　熱容量と比熱（1）　3　熱容量と比熱（2）		○	
27	9/19	金	4　熱の伝わり方　［添削指導］			
28	9/22	月	5　仕事や電流と熱の発生	○		第5回(10/3)
29	9/26	金	6　エネルギーの移り変わり		○	
30	9/29	月	7　エネルギー資源の有効利用		○	
31	10/3	金	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
32	10/7	火	２学期　中間試験			第6回(11/7)
33	10/17	金	第Ⅳ章　地球や宇宙の科学　第1節　自然の景観と自然災害 1　日本列島のなりたち	○		
34	10/20	月	2　火山活動と地表の変化	○		
35	10/24	金	3　火山災害と防災		○	
36	10/27	月	4　地震活動と地表の変化	○		
37	10/31	金	5　地震災害と防災	○		
38	11/7	金	6　水のはたらきと地表の変化（1）［添削指導］			
39	11/10	月	7　水のはたらきと地表の変化（2）	○		第7回(12/1)
40	11/14	金	8　気象災害と防災①		○	
41	11/17	月	8　気象災害と防災②	○		
42	11/21	金	第Ⅳ章　地球や宇宙の科学　第2節　太陽と地球 1　太陽と太陽系	○		
43	11/28	金	2　太陽系を構成する天体	○		
44	12/1	月	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
45	12/3	水	２学期　期末試験		○	第8回(1/30)
46	1/9	金	3　太陽と人間生活（1）4　太陽と人間生活（2）	○		
47	1/16	金	5　天体の動き	○		
48	1/23	金	6　太陽と月の動き（1）		○	
49	1/30	金	7　太陽と月の動き（2）［添削指導］			
50	2/6	金	8　太陽の動きと太陽暦（1）	○		第9回(2/20)
51	2/13	金	9　太陽の動きと太陽暦（2）	○		
52	2/20	金	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
53	3/2	月	３学期　学年末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
保健体育	体育（1年）	単位数：2単位 ［標準単位：7単位］	年間	矢田　佑志

指導目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成する。

1．運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

2．生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

3．運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

スクーリング	全35回	面接指導：　20回 講　義　：　9回	教科書	現代高等保健体育（大修館）
レポート	全3回	添削指導：　3回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期　：　1回 2学期　：　1回 3学期　：　1回	副教材	アクティブスポーツ（大修館）
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス・体育理論		○	第1回(6/20)
2	4/25	金	体つくり運動	○		
3	5/9	金	体つくり運動	○		
4	5/16	金	体つくり運動	○		
5	5/23	金	球技（バレーボール）		○	
6	5/30	金	球技（バレーボール）	○		
7	6/6	金	球技（バレーボール）	○		
8	6/13	金	球技（バレーボール）	○		
9	6/20	金	球技（バレーボール）	○		
10	6/27	金	球技（バレーボール）［添削指導］			
11	6/30	月	期末試験			
12	7/9	水	試験返却		○	
13	8/29	金	体育理論		○	第2回(11/21)
14	9/12	金	陸上競技（ハードル）	○		
15	9/19	金	陸上競技（ハードル）	○		
16	9/26	金	陸上競技（ハードル）	○		
17	10/3	金	陸上競技（ハードル）	○		
18	10/17	金	陸上競技（ハードル）	○		
19	10/24	金	球技（サッカー）		○	
20	10/31	金	球技（サッカー）	○		
21	11/7	金	球技（サッカー）	○		
22	11/14	金	球技（サッカー）	○		

23	11/21	金	球技（サッカー）	○		
24	11/28	金	球技（サッカー）［添削指導］			
25	12/3	水	期末試験			
26	12/12	金	試験返却		○	
27	1/9	金	体育理論		○	第３回(2/20)
28	1/16	金	球技（バスケットボール）	○		
29	1/30	金	球技（バスケットボール）		○	
30	2/6	金	球技（バスケットボール）	○		
31	2/13	金	球技（バスケットボール）	○		
32	2/20	金	球技（バスケットボール）	○		
33	2/27	金	球技（バスケットボール）［添削指導］			
34	3/2	月	期末試験			
35	3/11	水	試験返却		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
保健体育	保健（1年）	単位数：1単位 ［標準単位：2単位］	年間	矢田　佑志

指導目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

1．個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
2．健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
3．生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全35回	面接指導：　3回 講　義　：26回	教科書	現代高等保健体育（大修館）
レポート	全3回	添削指導：　3回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　1回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス		○	第1回(6/20)
2	4/25	金	健康の考え方と健康		○	
3	5/9	金	私たちの健康のすがた		○	
4	5/16	金	生活習慣病の予防と回復		○	
5	5/23	金	がんの原因と予防		○	
6	5/30	金	がんの治療と回復		○	
7	6/6	金	運動と健康		○	
8	6/13	金	食事と健康	○		
9	6/20	金	喫煙と健康①	○		
10	6/27	金	喫煙と健康②［添削指導］			
11	6/30	月	期末試験			
12	7/9	水	試験返却		○	
13	8/29	金	飲酒と健康①		○	第2回(11/21)
14	9/12	金	飲酒と健康②		○	
15	9/19	金	薬物乱用と健康		○	
16	9/26	金	精神疾患の特徴		○	
17	10/3	金	精神疾患の予防		○	
18	10/17	金	精神疾患からの回復		○	
19	10/24	金	現代の感染症		○	
20	10/31	金	感染症の予防		○	
21	11/7	金	性感染症・エイズとその予防①		○	
22	11/14	金	性感染症・エイズとその予防②	○		
23	11/21	金	健康に関する意思決定・行動選択	○		
24	11/28	金	健康に関する環境づくり［添削指導］			
25	12/3	水	期末試験			

26	12/12	金	試験返却		○	
27	1/9	金	事故の原因と発生要因		○	第3回(2/20)
28	1/16	金	安全な社会の形成		○	
29	1/30	金	交通における安全		○	
30	2/6	金	応急手当の意義とその基本		○	
31	2/13	金	日常の応急手当		○	
32	2/20	金	心肺蘇生法①	○		
33	2/27	金	心肺蘇生法②［添削指導］			
34	3/2	月	期末試験			
35	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ（1 年）	単位数：3 単位 ［標準単位：3 単位］	年間	榎本　　悠

指導目標
外国語科目の目標として外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やりとり］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」の言語活動を通して、情報や考えを的確に理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を学習の目標とします。「聞くこと」でも「読むことでも」言語活動を通して外国語を学ぼうとする気持ちや知識や外国語の文化への関心を高めていきます。
1. 平易な英語を聞き取り、その応答ができること。
2. 平易な英語を正しい発音、イントネーションで発音できること。
3. 平易な英文を読み、内容を理解できること。
4. 平易な英語を使って表現できること。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　24 回 講　義　：　16 回	教科書	東京書籍 All Aboard! English Communication
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	東京書籍 All Aboard! WORK BOOK 旺文社　グリーン・プレップイングリッシュ 東京書籍　コーパス１８００
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	Warm-Up 1　アルファベット、単語		○	第 1 回(5/8)
2	4/16	水	Warm-Up 2　英語の語順／疑問詞	○		
3	4/22	火	Warm-Up 3　人称代名詞／動詞（be 動詞／一般動詞）	○		
4	4/24	木	Pre-Lesson 1　My Name Is Ito Neko（be 動詞）	○		
5	5/ 8	木	Pre-Lesson 2　I Like Junk Food!（一般動詞）		○	
6	5/13	火	Communication 1［言語活動］自己紹介［添削指導１］			
7	5/15	木	英文のしくみ１　S+V, S+V+C, S+V+O 等		○	第 2 回(5/29)
8	5/20	火	Lesson 1　Breakfast around the World①		○	
9	5/22	木	Lesson 1　Breakfast around the World②	○		
10	5/27	火	Lesson 1　Breakfast around the World③	○		
11	5/29	木	Lesson 2　Australia’s Cute Quokkas①	○		
12	6/3	火	Lesson 2　Australia’s Cute Quokkas①［添削指導２］			
13	6/6	金	Lesson 2　Australia’s Cute Quokkas②		○	第 3 回(6/19)
14	6/10	火	Lesson 2　Australia’s Cute Quokkas③	○		
15	6/12	木	文法のまとめ ①be 動詞と一般動詞過去形／進行形	○		
16	6/17	火	文法のまとめ ②否定文と疑問文 ／疑問視	○		
17	6/19	木	文法のまとめ ③進行形	○		
18	6/24	火	文法演習①、リスニング（内容理解①）　［添削指導３］			
19	6/26	木	文法演習②、リスニング（内容理解②）		○	第 4 回(9/4)
20	6/30	月	１学期定期試験（期末）			
21	8/28	木	Lesson 3　A Train Driver in Sanriku①		○	
22	9/2	火	Lesson 3　A Train Driver in Sanriku②	○		
23	9/4	木	Lesson 3　A Train Driver in Sanriku③	○		
24	9/9	火	文法のまとめ ③助動詞　［添削指導４］			
25	9/11	木	Communication 2［言語活動］場面会話①（道案内）		○	第 5 回(9/18)
26	9/16	火	Communication 2［言語活動］場面会話②（お店等）	○		

27	9/18	木	Let's Listen 1［言語活動］(内容理解・ディクテーション) ①	○		
28	9/25	木	**Lesson 4　A Miracle Mirror①**　　［添削指導5］			
29	9/30	火	**Lesson 4　A Miracle Mirror②**			
30	10/2	木	**Lesson 4　A Miracle Mirror③**		○	
31	10/7	火	２学期定期試験（中間）	○		
32	10/16	木	文法のまとめ ④不定詞①	○		
33	10/21	火	文法のまとめ ⑤不定詞②	○		第６回(10/21)
34	10/28	火	Writing［言語活動］e-mail を書く①　　［添削指導6］		○	
35	11/6	木	Writing［言語活動］e-mail を書く②			
36	11/13	木	Writing［言語活動］e-mail を発表する		○	
37	11/18	火	Writing［言語活動］e-mail を発表する	○		
38	11/20	木	Extra Target 1［言語活動］リスニング（内容理解①）		○	第７回(11/25)
39	11/25	火	Extra Target 1［言語活動］リスニング（内容理解②）	○		
40	12/3	水	２学期定期試験（期末）			
41	1/13	火	Lesson 5　Learning from the Sea①　［添削指導7］			
42	1/15	木	Lesson 5　Learning from the Sea②		○	
43	1/20	火	Lesson 5　Learning from the Sea③	○		
44	1/22	木	Lesson 5　Learning from the Sea④	○		第８回(1/29)
45	1/27	火	Lesson 5　Learning from the Sea⑤		○	
46	1/29	木	文法のまとめ ⑥動名詞①	○		
47	2/3	火	文法のまとめ ⑦動名詞②　　［添削指導8］			
48	2/5	木	文法のまとめ ⑧動名詞と不定詞		○	
49	2/10	火	Let's Listen 2［言語活動］リスニング（対話理解①）		○	
51	2/12	木	Let's Listen 2［言語活動］リスニング（対話理解②）	○		第９回(2/24)
51	2/17	火	１年間のまとめ　Reading①	○		
52	2/24	火	１年間のまとめ　Reading②　　［添削指導9］			
53	3/2	月	３学期定期試験（学年末）			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
家庭	家庭基礎	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	西山　裕希

指導目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

（1）人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、生涯を見通して解決する力を養う。

（3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　12回 講　義　：　31回	教科書	大修館書店　CreativeLiving「家庭基礎」で生活を作ろう
レポート	全6回	添削指導：　6回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	CreativeLiving「家庭基礎」で生活を作ろう　学習ノート
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス　家庭科を学ぶということ		○	第1回(5/16)
2	4/24	木	住生活　住まいを知ろう		○	
3	4/25	金	住生活　日本の住文化を知ろう		○	
4	5/1	木	住生活　住む人の生活と住まい		○	
5	5/8	木	住生活　心地よく暮らすために	○		
6	5/9	金	住生活　安全に安心して暮らす		○	
7	5/15	木	住生活　住まいを長く使う		○	
8	5/16	金	住生活　住環境を見つめてみよう	○		
9	5/22	木	住居の計画（添削指導）			
10	5/23	金	衣生活　人と被服の関わり	○		第2回(6/27)
11	5/29	木	衣生活　快適な被服の条件		○	
12	5/30	金	衣生活　夏は麻、冬は毛の理由	○		
13	6/6	金	衣生活　長持ちさせる手入れ		○	
14	6/12	木	衣生活　被服の３R、実践してる？		○	
15	6/13	金	衣生活　健康と安全を守る被服		○	
16	6/19	木	衣生活　衣生活のPDCA		○	
17	6/27	金	被服計画（添削指導）			
18	6/30	月	１学期　期末試験			
19	8/28	木	食生活　体と心を満たす食事		○	第3回(9/25)
20	8/29	金	食生活　栄養バランスの良い食事	○		
21	9/4	木	食生活　炭水化物を取る		○	
22	9/11	木	食生活　脂質を取る		○	
23	9/12	金	食生活　たんぱく質を取る		○	
24	9/18	木	食生活　無機質を取る		○	
25	9/19	金	食生活　ビタミンを取る		○	
26	9/25	木	食生活　豊かな食卓に	○		

27	9/26	金	献立作り（添削指導）			
28	10/2	木	経済生活　生活を営むためのお金		○	第４回(10/23)
29	10/3	金	経済生活　経済の仕組みを知ろう		○	
30	10/7	火	２学期　中間試験		○	
31	10/16	木	経済生活　お金と上手に付き合う術			
32	10/17	金	経済生活　１８歳で変わる消費生活		○	
33	10/23	木	ライフプランを立てよう（添削指導）			
34	10/24	金	経済生活　進むキャッシュレス社会	○		
35	10/30	木	経済生活　「お金を借りる」ということ		○	
36	10/31	金	経済生活　消費者トラブルの今	○		
37	11/6	木	経済生活　消費者の自立を支援する		○	
38	11/7	金	経済生活　情報社会を生きる		○	
39	11/13	木	家族・家庭生活　家族って何だろう	○		第５回(11/28)
40	11/14	金	家族・家庭生活　生活マネジメントの拠点		○	
41	11/20	木	家族・家庭生活　法律から見る家族・家庭	○		
42	11/21	金	家族・家庭生活　ダイバーシティの実現を目指す		○	
43	11/28	金	生活をデザインする（添削指導）			
44	12/3	水	２学期　期末試験			
45	1/15	木	子どもの生涯と子育て　好奇心いっぱい①		○	第６回(2/20)
46	1/16	金	子どもの生涯と子育て　好奇心いっぱい②		○	
47	1/22	木	子どもの生涯と子育て　子どものいる暮らし		○	
48	1/29	木	子どもの生涯と子育て　子どもの仕事は「遊び」		○	
49	2/5	木	子どもの生涯と子育て　子どもの健康と事故	○		
51	2/6	金	子どもの生涯と子育て　親になるということ		○	
51	2/12	木	子どもの生涯と子育て　社会で子育て	○		
52	2/20	金	絵本の世界（添削指導）			
53	3/2	月	３学期　学年末試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	ビジネス基礎	単位数：3 単位 ［標準単位：3 単位］	年間	渡部　学

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

（1）ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

（2）ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

（3）ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　12 回 講　義　：　31 回	教科書	ビジネス基礎
レポート	全 6 回	添削指導：　6 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	いざ、ビジネスの世界へ１		○	第 1 回(5/13)
2	4/15	火	いざ、ビジネスの世界へ２		○	
3	4/22	火	私たちの社会とビジネス１		○	
4	4/25	金	私たちの社会とビジネス２	○		
5	5/1	木	コミュニケーション１		○	
6	5/8	木	コミュニケーション２		○	
7	5/9	金	ビジネスマナー１		○	
8	5/13	火	ビジネスマナー２	○		
9	5/15	木	情報の入手と活用（添削指導）			
10	5/16	金	経済の仕組みとビジネス１		○	第 2 回(6/26)
11	5/20	火	経済の仕組みとビジネス２		○	
12	6/6	金	経済の仕組みとビジネス３		○	
13	6/10	火	経済の仕組みとビジネス４	○		
14	6/12	木	経済活動と流通１		○	
15	6/13	金	経済活動と流通２	○		
16	6/17	火	経済活動と流通３		○	
17	6/24	火	経済活動と流通４	○		
18	6/26	木	ビジネスの種類１		○	
19	6/27	金	ビジネスの種類２（添削指導）			
20	6/30	月	期末試験			第 3 回(9/26)
21	8/26	火	小売業１		○	
22	8/28	木	小売業２		○	
23	8/29	金	卸売業	○		
24	9/9	火	物流業１		○	
25	9/11	木	物流業２	○		
26	9/12	金	金融業１		○	
27	9/25	木	金融業２		○	

28	9/26	金	情報通信業１		○	
29	9/30	火	情報通信業２（添削指導）			
30	10/2	木	ビジネスと企業１		○	第４回(10/21)
31	10/3	金	ビジネスと企業２		○	
32	10/7	火	中間試験			
33	10/14	火	マーケティングの重要性	○		
34	10/16	木	資金調達１		○	
35	10/17	金	資金調達２		○	
36	10/21	火	財務諸表の役割１	○		
37	10/23	木	財務諸表の役割２（添削指導）			
38	10/24	金	企業活動と税		○	第５回(11/28)
39	11/6	木	雇用１		○	
40	11/11	火	雇用２	○		
41	11/13	木	売買取引の手順１		○	
42	11/14	金	売買取引の手順２		○	
43	11/25	火	代金決済１		○	
44	11/28	金	代金決済２	○		
45	12/2	火	代金決済３（添削指導）			
46	12/3	水	期末試験			第６回(2/12)
47	1/9	金	ビジネス計算の基礎		○	
48	1/13	火	ビジネス計算の応用１		○	
49	1/22	木	ビジネス計算の応用２		○	
50	2/3	火	さまざまな地域の魅力と課題１		○	
51	2/12	木	さまざまな地域の魅力と課題２	○		
52	2/27	金	地域ビジネスの動向（添削指導）			
53	3/2	月	期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	簿記	単位数：4単位 ［標準単位：8単位］	年間	岡田　拓也

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
2. 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
3. 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全70回	面接指導：16回 講　義　：42回	教科書	高校簿記
レポート	全8回	添削指導：8回 その他　：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：1回 ２学期　：2回 ３学期　：1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	簿記の意味・目的	○		第1回(5/22)
2	4/22	火	簿記の種類・歴史		○	
3	4/24	木	簿記の基礎的条件		○	
4	5/1	木	簿記の要素（資産）		○	
5	5/8	木	簿記の要素（負債）		○	
6	5/13	火	簿記の要素（純資産）		○	
7	5/15	木	簿記の要素（費用・収益）	○		
8	5/20	火	貸借対照表と損益計算書（計算問題①）		○	
9	5/22	木	貸借対照表と損益計算書（計算問題②）		○	
10	5/27	火	貸借対照表と損益計算書（計算問題③）（添削指導）			
11	5/29	木	取引と勘定		○	第2回(6/24)
12	6/3	火	勘定記入法		○	
13	6/10	火	取引の分解と勘定記入①		○	
14	6/12	木	取引の分解と勘定記入②		○	
15	6/13	金	仕訳①	○		
16	6/17	火	仕訳②		○	
17	6/19	木	仕訳③		○	
18	6/20	金	仕訳④		○	
19	6/24	火	仕訳⑤	○		
20	6/26	木	仕訳⑥　（添削指導）			
21	6/30	月	１学期期末試験			第3回(9/11)
22	7/9	水	試験返却		○	
23	8/26	火	転記①		○	
24	8/28	木	転記②		○	
25	9/2	火	転記③		○	
26	9/4	木	仕訳と転記のまとめ	○		

27	9/9	火	仕訳帳の記入①		○	
28	9/11	木	仕訳帳の記入②	○		
29	9/16	火	総勘定元帳の記入①（添削指導）			
30	9/24	水	総勘定元帳の記入②		○	第４回(10/21)
31	9/25	木	仕訳帳と総勘定元帳の記入のまとめ	○		
32	9/30	火	貸借対照表の作成①		○	
33	10/2	木	貸借対照表の作成②		○	
34	10/7	火	２学期中間試験			
35	10/14	火	損益計算書の作成①		○	
36	10/16	木	損益計算書の作成②		○	
37	10/21	火	貸借対照表と損益計算書の作成のまとめ	○		
38	10/23	木	精算表の作成①（添削指導）			
39	10/28	火	精算表の作成②		○	第５回(11/20)
40	10/30	木	精算表の作成③		○	
41	11/6	木	精算表のまとめ	○		
42	11/11	火	会計報告書の作成①		○	
43	11/13	木	会計報告書の作成②		○	
44	11/18	火	会計報告書の作成③		○	
45	11/20	木	会計報告書の作成のまとめ	○		
46	11/25	火	全経基礎簿記会計検定　検定対策（添削指導）			
47	12/2	火	これまでの学習のまとめ	○		第６回(1/22)
48	12/3	水	２学期期末試験			
49	12/12	金	試験返却		○	
50	1/13	火	試算表の作成①		○	
51	1/15	木	試算表の作成②		○	
52	1/20	火	試算表のまとめ	○		
53	1/22	木	現金出納帳の記入①		○	
54	1/27	火	現金出納帳の記入②（添削指導）			
55	1/29	木	現金出納帳の記入のまとめ		○	第７回(2/12)
56	1/30	金	現金過不足①		○	
57	2/3	火	現金過不足②		○	
58	2/5	木	現金過不足のまとめ	○		
59	2/6	金	小口現金出納帳の記入①		○	
60	2/10	火	小口現金出納帳の記入②		○	
61	2/12	木	小口現金出納帳の記入のまとめ	○		
62	2/13	金	当座預金と当座借越（添削指導）			
63	2/17	火	仕訳①		○	第８回(2/26)
64	2/19	木	仕訳②		○	
65	2/20	金	仕訳③	○		
66	2/24	火	当座預金出納帳の記入①		○	
67	2/26	木	当座預金出納帳の記入②	○		
68	2/27	金	当座預金出納帳の記入のまとめ（添削指導）			
69	3/2	月	学年末試験			
70	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	日本語ワープロ	単位数：3 単位 ［標準単位：5 単位］	年間	齋藤　介志

指導目標
1. パソコン全般に関する幅広い知識と操作技術を習得する。
2. 文書を読む技術とパソコンの入力技術を意識しながら練習を行い、入力速度の向上を図る。
3. 情報モラルについて正しい知識を習得すると共に、問題の発見、解決に向けて自分の考えを表現できるようにする。
4. ビジネス文書の構成に関する知識と作製技術を習得する。
5. 日本語ワープロ検定を習得する。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　12 回 講　義　：　32 回	教科書	なし
レポート	全 6 回	添削指導：　6 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	日本情報処理検定協会　日本語ワープロ模擬問題集３・４級編
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	PC 基礎知識①	○		第 1 回(5/13)
2	4/15	火	PC 基礎知識②		○	
3	4/22	火	Word 基礎知識①		○	
4	4/25	金	Word 基礎知識②		○	
5	5/1	木	ローマ字入力①	○		
6	5/8	木	ローマ字入力②		○	
7	5/9	金	ローマ字入力③		○	
8	5/13	火	ローマ字入力④		○	
9	5/15	木	ローマ字入力⑤（添削指導）			
10	5/16	金	ビジネス文書の構成要素①	○		第 2 回(6/24)
11	5/20	火	ビジネス文書の構成要素②		○	
12	6/6	金	文書入力①	○		
13	6/10	火	文書入力②		○	
14	6/12	木	文書入力③		○	
15	6/13	金	文書入力④		○	
16	6/17	火	文書入力⑤		○	
17	6/24	火	課題制作①	○		
18	6/26	木	課題制作②（添削指導）			
19	6/27	金	課題制作③		○	
20	6/30	月	１学期定期試験			
21	8/26	火	ビジネスマナー・文書①	○		第 3 回(9/12)
22	8/28	木	ビジネスマナー・文書②		○	
23	8/29	金	文書入力①		○	
24	9/9	火	文書入力②		○	
25	9/11	木	文書入力③		○	
26	9/12	金	文書入力④		○	
27	9/25	木	文書入力⑤（添削指導）			
28	9/26	金	ビジネス文書①	○		第 4 回(11/6)

29	9/30	火	ビジネス文書②		○	
30	10/14	火	文書入力①	○		
31	10/16	木	文書入力②		○	
32	10/17	金	文書入力③		○	
33	10/21	火	課題作成①	○		
34	10/23	木	課題作成②		○	
35	11/6	木	課題作成②		○	
36	11/11	火	文書入力④（添削指導）			
37	11/21	金	文書入力⑤		○	
38	11/25	火	文書入力⑥		○	
39	11/28	金	文書入力⑦		○	
40	12/3	水	２学期定期試験			
41	1/9	金	情報モラルについて①	○		第５回(1/22)
42	1/13	火	情報モラルについて②		○	
43	1/16	金	文書入力①		○	
44	1/22	木	文書入力②		○	
45	1/27	火	文書入力③（添削指導）			
46	1/29	木	表の作成①	○		第６回(2/20)
47	2/3	火	表の作成②		○	
48	2/6	金	文書入力、表の作成①		○	
49	2/12	木	文書入力、表の作成②		○	
51	2/17	火	課題作成①	○		
51	2/20	金	課題作成②		○	
52	2/26	木	課題作成③（添削指導）			
53	3/2	月	３学期定期試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
国語	国語表現（2年）	単位数：3単位 ［標準単位：4単位］	年間	野本　茂樹

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

2　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	大修館書店　国語表現
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス		○	第1回(5/7)
2	4/16	水	言葉と表記①		○	
3	4/23	水	言葉と表記②		○	
4	4/25	金	整った文を書く①	○		
5	5/7	水	整った文を書く②		○	
6	5/9	金	整った文を書く③（添削指導）			
7	5/14	水	相手に応じた言葉遣い①		○	第2回(5/28)
8	5/16	金	相手に応じた言葉遣い②		○	
9	5/21	水	わかりやすい文を書く①		○	
10	5/23	金	わかりやすい文を書く②		○	
11	5/28	水	文のつなぎ方①		○	
12	5/30	金	文のつなぎ方②（添削指導）			
13	6/6	金	文のつなぎ方③		○	第3回(6/20)
14	6/11	水	自己紹介ゲーム①		○	
15	6/13	金	自己紹介ゲーム②		○	
16	6/18	水	言葉のストレッチ体操①		○	
17	6/20	金	言葉のストレッチ体操②		○	
18	6/25	水	言葉のストレッチ体操③（添削指導）			
19	6/27	金	絵や写真を見て書く①		○	第4回(9/3)
20	6/30	月	**期末試験**			
21	8/27	水	絵や写真を見て書く②		○	
22	8/29	金	マイニュース記事を書こう①	○		
23	9/3	水	マイニュース記事を書こう②		○	
24	9/12	金	マイニュース記事を書こう③（添削指導）			
25	9/17	水	小論文とは何か①		○	第5回(9/26)
26	9/19	金	小論文とは何か②		○	

27	9/24	水	小論文とは何か③		○	
28	9/26	金	反論を想定して書く①	○		
29	10/1	水	反論を想定して書く②（添削指導）			
30	10/3	金	反論を想定して書く③		○	第6回(10/24)
31	10/7	火	**中間試験**			
32	10/17	金	反論を想定して書く④		○	
33	10/22	水	文章を読み取って書く①	○		
34	10/24	金	文章を読み取って書く②		○	
35	10/29	水	文章を読み取って書く③（添削指導）			
36	11/5	水	統計資料を読み取って書く①		○	第7回(11/19)
37	11/7	金	統計資料を読み取って書く②		○	
38	11/12	水	統計資料を読み取って書く③		○	
39	11/14	金	統計資料を読み取って書く④		○	
40	11/19	水	発想を広げて書く①	○		
41	11/21	金	発想を広げて書く②（添削指導）			
42	11/28	金	発想を広げて書く③		○	第8回(1/23)
43	12/3	水	**期末試験**			
44	1/9	金	レポートを書く①		○	
45	1/14	水	レポートを書く②		○	
46	1/23	金	レポートを書く③		○	
47	1/28	水	レポートを書く④（添削指導）			
48	1/30	金	論文を書くために①	○		第9回(2/18)
49	2/4	水	論文を書くために②		○	
50	2/6	金	論文を書くために③		○	
51	2/18	水	論文を書くために④		○	
52	2/25	水	論文を書くために⑤（添削指導）			
53	3/2	月	**期末試験**			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
地理歴史	地理総合	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	飯髙　北斗

指導目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

1. 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解し，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
2. 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目し，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，議論したりする力を養う。
3. 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を 主体的に追究，解決しようとする態度を養い，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	帝国書院　新地理総合
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	新詳高等地図
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	地図上の位置と時差①		○	第1回(5/1)
2	4/17	木	地図上の位置と時差②		○	
3	4/22	火	地図の役割と種類①		○	
4	4/24	木	地図の役割と種類②	○		
5	5/1	木	地図の役割と種類③		○	
6	5/8	木	現代世界の国家と領域①(添削指導)			
7	5/13	火	現代世界の国家と領域②		○	第2回(5/27)
8	5/15	木	グローバル化する世界①		○	
9	5/20	火	グローバル化する世界②		○	
10	5/22	木	生活文化の多様性		○	
11	5/27	火	世界の地形と人々の生活①	○		
12	5/29	木	世界の地形と人々の生活②(添削指導)			
13	6/3	火	世界の地形と人々の生活③		○	第3回(6/17)
14	6/5	木	世界の気候と人々の生活①		○	
15	6/10	火	世界の気候と人々の生活②		○	
16	6/12	木	世界の気候と人々の生活③		○	
17	6/17	火	世界の言語・宗教と人々の生活①	○		
18	6/19	木	世界の言語・宗教と人々の生活②(添削指導)			
19	6/24	火	世界の言語・宗教と人々の生活③		○	第4回(9/2)
20	6/30	月	一学期定期試験			

21	8/26	火	歴史的背景と人々の生活①		○	
22	8/28	木	歴史的背景と人々の生活②		○	
23	9/2	火	歴史的背景と人々の生活③		○	
24	9/4	木	世界の産業と人々の生活①(添削指導)			
25	9/16	火	世界の産業と人々の生活②		○	第５回(9/30)
26	9/18	木	世界の産業と人々の生活③		○	
27	9/25	木	複雑に絡み合う地球的課題	○		
28	9/30	火	地球環境問題①		○	
29	10/2	木	地球環境問題②(添削指導)			
30	10/7	火	二学期定期試験			第６回(10/21)
31	10/14	火	地球環境問題③		○	
32	10/16	木	地球環境問題④		○	
33	10/21	火	資源・エネルギー問題①		○	
34	10/23	木	資源・エネルギー問題②		○	
35	10/28	火	資源・エネルギー問題③(添削指導)			
36	10/30	木	人口問題①		○	第７回(11/18)
37	11/6	木	人口問題②		○	
38	11/11	火	人口問題③	○		
39	11/13	木	食糧問題①		○	
40	11/18	火	食糧問題②		○	
41	11/20	木	食糧問題③(添削指導)			
42	11/25	火	都市・居住問題①		○	第８回(1/15)
43	12/2	火	都市・居住問題②		○	
44	12/3	水	二学期定期試験			
45	1/13	火	都市・居住問題③		○	
46	1/15	木	日本の自然環境		○	
47	1/20	火	地震・津波と防災(添削指導)			
48	1/27	火	火山災害と防災		○	第９回(2/17)
49	2/3	火	気象災害と防災		○	
51	2/10	火	自然災害への備え	○		
51	2/17	火	生活圏の調査と地域の展望①		○	
52	2/24	火	生活圏の調査と地域の展望②(添削指導)			
53	3/2	月	三学期定期試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
数学	数学Ⅰ（2 年）	単位数：3 単位 ［標準単位：3 単位］	年間	黒沼　佐和子

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
3. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　6 回 講　義　：34 回	教科書	新高校の数学Ⅰ
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	新課程　新高校の数学Ⅰ対応 教科書学習ノート　数学Ⅰ
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス	○		第 1 回(5/14)
2	4/16	水	関数の考え方		○	
3	4/25	金	関数の値		○	
4	5/9	金	１次関数		○	
5	5/14	水	１次関数のグラフ		○	
6	5/16	金	２次関数の軸と頂点（添削指導）			
7	5/23	金	２次関数 $y=ax^2$ のグラフ		○	第 2 回(6/11)
8	5/28	水	２次関数 $y=ax^2+q$ のグラフ		○	
9	5/30	金	２次関数 $y=a(x-p)^2$ のグラフ		○	
10	6/4	水	２次関数 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ		○	
11	6/11	水	グラフの平行移動	○		
12	6/18	水	グラフのまとめ（添削指導）			
13	6/20	金	２次関数の平方完成		○	第 3 回(8/29)
14	6/25	水	２次関数 $y=x^2-2px$ のグラフ		○	
15	6/28	金	１学期期末試験			
16	7/9	水	試験返却		○	
17	8/27	水	２次関数 $y=x^2+bx+c$ のグラフ		○	
18	8/29	金	２次関数のグラフ（添削指導）			
19	9/3	水	２次関数 $y=ax^2+bx+c(a>0)$ のグラフ		○	第 4 回(9/24)
20	9/17	水	２次関数 $y=ax^2+bx+c(a<0)$ のグラフ		○	
21	9/19	金	２次関数の最大値、最小値		○	
22	9/24	水	２次関数 $y=ax^2+bx+c$ の最大値、最小値		○	
23	10/1	水	２次関数の最大値、最小値（添削指導）			
24	10/8	水	２学期中間試験			
25	10/15	水	試験返却		○	第 5 回(10/24)
26	10/17	金	定義域がある２次関数の最大値、最小値	○		

27	10/22	水	２次関数の利用①		○	
28	10/24	金	２次関数の利用①		○	
29	10/29	水	２次関数のまとめ（添削指導）			
30	10/31	金	グラフと２次方程式	○		第６回(11/14)
31	11/5	水	２次方程式の解き方		○	
32	11/7	金	２次方程式（因数分解）		○	
33	11/12	水	２次方程式（解の公式）		○	
34	11/14	金	２次関数のグラフとx軸との共有点①		○	
35	11/19	水	２次関数のグラフとx軸との共有点②（添削指導）			
36	11/21	金	グラフと２次不等式（共有点２個）		○	第７回(12/12)
37	11/26	水	グラフと２次不等式（共有点１個）		○	
38	11/28	金	グラフと２次不等式（共有点なし）		○	
39	12/3	水	２学期期末試験			
40	12/12	金	試験返却		○	
41	1/9	金	グラフと２次方程式、２次不等式（添削指導）			
42	1/14	水	データの並び替え	○		第８回(2/6)
43	1/21	水	度数分布表		○	
44	1/30	金	ヒストグラム		○	
45	2/4	水	データの代表値①		○	
46	2/6	金	データの代表値②		○	
47	2/13	金	データの整理（添削指導）			
48	2/18	水	四分位数	○		第９回(2/25)
49	2/20	金	箱ひげ図		○	
51	2/25	水	分散・標準偏差		○	
51	2/27	金	データの相関（添削指導）			
52	3/4	水	学年末試験			
53	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
理科	生物基礎	単位数：3 単位 ［標準単位：2 単位］	年間	

指導目標

自然の事物や現象を科学的に探究するために、次の項目にしたがって必要な見方や考え方の向上を目指す。

1. 自然現象を通して生物とそれを取り巻く環境を中心に、生物のもつ多様性や共通性について理解させる。
2. 日常生活との関連を図りながら生命現象への関心を高め、実験映像等で確認しながら目的意識をもって観察し、生物学を探究する能力と態度を身につけさせる。
3. １年時に学んだ「科学と人間生活」からの継続性を考慮しながら、生物と自然についてそれらの形成過程を学習するとともに、両者の関連性を通して理解させる。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　24 回 講　義　：　16 回	教科書	新編　生物基礎
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス　生物と私たちのくらし	○		第 1 回(4/28)
2	4/14	月	第１章　生物の特徴　第１節　生物の多様性と共通性 １　生物の多様性	○		
3	4/21	月	２　生物の共通性とその由来①		○	
4	4/25	金	２　生物の共通性とその由来②	○		
5	4/28	月	３　生物に共通する構造－細胞①	○		
6	5/9	金	３　生物に共通する構造－細胞②［添削指導］			
7	5/12	月	第２節　エネルギーと代謝 １　生命活動とエネルギー①		○	第 2 回(5/26)
8	5/16	金	１　生命活動とエネルギー②	○		
9	5/19	月	第３節　呼吸と光合成 １　呼吸①	○		
10	5/23	金	１　呼吸②　　２　光合成①		○	
11	5/26	月	２　光合成②　３　エネルギーの流れ	○		
12	5/30	金	４　酵素の性質①［添削指導］			
13	6/2	月	４　酵素の性質②	○		第 3 回(6/20)
14	6/7	金	第２章　遺伝子とそのはたらき　第１節　遺伝情報とＤＮＡ １　遺伝情報を含む物質－ＤＮＡ		○	
15	6/9	月	２　ＤＮＡの構造①	○		
16	6/13	金	２　ＤＮＡの構造②	○		
17	6/16	月	第２節　遺伝情報の複製と分配 １　細胞周期とＤＮＡ		○	
18	6/20	金	２　遺伝情報の複製　３　遺伝情報の分配	○		
19	6/23	月	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
20	6/30	月	１学期　期末試験			
21	8/25	月	第３節　遺伝情報の発現 １　遺伝情報とタンパク質		○	第 4 回(9/12)

22	8/29	金	2　タンパク質の合成①	○		
23	9/1	月	2　タンパク質の合成②		○	
24	9/12	金	2　タンパク質の合成③	○		
25	9/19	金	3　細胞の分化と遺伝情報［添削指導］			
26	9/22	月	4　遺伝子とゲノム	○		第５回(10/3)
27	9/26	金	第3章　ヒトの体内環境の維持　第1節　体内環境での遺伝情報と調節 1　体内での情報伝達		○	
28	9/29	月	2　神経系による情報の伝達と調節①	○		
29	10/3	金	3　内分泌系による情報の伝達と調節①		○	
30	10/6	月	3　内分泌系による情報の伝達と調節②［添削指導］			
31	10/7	火	２学期　中間試験			
32	10/17	金	第２節　体内環境の維持のしくみ 1　体内環境の維持①	○		第６回(10/27)
33	10/20	月	1　体内環境の維持②	○		
34	10/24	金	2　血糖濃度の調節のしくみ		○	
35	10/27	月	3　血液の循環を維持するしくみ①	○		
36	10/31	金	3　血液の循環を維持するしくみ②［添削指導］			
37	11/7	金	第4章　生物の多様性と生態系　第2節　植生の分布とバイオーム 1　植生とバイオーム		○	第７回(11/17)
38	11/10	月	2　世界のバイオーム	○		
39	11/14	金	3　日本のバイオーム		○	
40	11/17	月	第３節　生態系と生物の多様性 1　生態系の成り立ち①	○		
41	11/21	金	1　生態系の成り立ち②［添削指導］			
42	11/27	木	2　生態系における種多様性	○		第８回(1/9)
43	11/28	金	3　生態系における生物どうしのつながり		○	
44	12/1	月	単元の振り返りと基本事項の確認	○		
45	12/3	水	２学期　期末試験			
46	1/9	金	第４節　生態系のバランスと保全 1　生態系のバランス①		○	
47	1/16	金	1　生態系のバランス②［添削指導］			
48	1/19	月	2　人間生活と生態系①	○		第９回(2/6)
49	1/23	金	2　人間生活と生態系②		○	
51	1/30	金	3　生態系の保全①	○		
51	2/6	金	3　生態系の保全②		○	
52	2/13	金	単元の振り返りと基本事項の確認　［添削指導］			
53	3/2	月	３学期　学年末試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
保健体育	体育（2 年）	単位数：2 単位 ［標準単位：7 単位］	年間	大石　雄太

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進 し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成する。

1. 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付ける。
2. 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて 思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。
3. 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指 し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全 35 回	面接指導：　20 回 講　義　：　9 回	教科書	現代高等保健体育（大修館）
レポート	全 3 回	添削指導：　3 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	アクティブスポーツ 2024（大修館）
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/17	木	ガイダンス		○	第 1 回(6/13)
2	4/24	木	体ほぐしの運動①	○		
3	5/1	木	体ほぐしの運動②	○		
4	5/8	木	ティーボール①	○		
5	5/15	木	ティーボール②	○		
6	5/22	木	ティーボール③		○	
7	5/29	木	走り高跳び①	○		
8	6/12	木	走り高跳び②	○		
9	6/19	木	走り高跳び③（添削指導）			
10	6/26	木	実技試験	○		
11	7/3	木	期末試験			
12	7/9	水	試験返却		○	
13	8/28	木	跳び箱①		○	第 2 回(11/14)
14	9/4	木	跳び箱②	○		
15	9/11	木	跳び箱③			
16	9/18	木	マット運動①	○		
17	9/25	木	マット運動②		○	
18	10/2	木	ダンス①	○		
19	10/16	木	ダンス②	○		
20	10/23	木	ダンス③	○		
21	10/30	木	ダンス④		○	
22	11/6	木	ハンドボール①	○		
23	11/13	木	ハンドボール②	○		
24	11/20	木	ハンドボール③（添削指導）			
25	11/27	木	実技試験	○		

26	12/4	木	期末試験			
26	12/12	金	試験返却		○	
27	1/15	木	ハンドボール④		○	第３回(2/12)
28	1/22	木	ハンドボール⑤	○		
29	1/29	木	ハンドボール⑥	○		
30	2/5	木	ハンドボール⑦	○		
31	2/12	木	ハンドボール⑧	○		
32	2/19	木	ハンドボール⑨（添削指導）			
33	2/26	木	実技試験	○		
34	3/5	木	期末試験			
35	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
保健体育	保健（2 年）	単位数：1 単位 ［標準単位：2 単位］	年間	大石　雄太

指導目標

保健の見方・考え方を働かせて，合理的，計画的な解決に向けた学習 過程を通して，生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。

1. 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付ける。
2. 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解 決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝 える力を養う。
3. 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを 目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全 34 回	面接指導：　3 回 講　義　：25 回	教科書	現代高等保健体育（大修館）
レポート	全 3 回	添削指導：　3 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	配布プリントなど
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス		○	第 1 回(6/24)
2	4/22	火	ライフステージと健康		○	
3	5/13	火	思春期と健康		○	
4	5/20	火	性意識と性行動の選択		○	
5	5/27	火	妊娠・出産と健康①		○	
6	6/3	火	妊娠・出産と健康②		○	
7	6/10	火	避妊法と人工妊娠中絶①		○	
8	6/17	火	避妊法と人工妊娠中絶②	○		
9	6/24	火	結婚生活と健康		○	
10	6/27	火	レポート添削指導			
11	7/1	火	期末試験			
12	7/9	水	試験返却		○	
13	8/26	火	中高年基と健康		○	第 2 回(11/25)
14	9/2	火	働くことと健康①		○	
15	9/16	火	働くことと健康②			
16	9/30	火	労働災害と健康・健康的な職業生活		○	
17	10/14	火	大気汚染と健康		○	
18	10/21	火	水質汚濁、土壌汚染と健康		○	
19	10/28	火	環境と健康にかかわる対策		○	
20	11/11	火	ごみの処理と上下水道の整備①		○	
21	11/18	火	ごみの処理と上下水道の整備②		○	
22	11/25	火	食品の安全性	○		
23	12/2	火	レポート添削指導		○	
24	12/9	火	期末試験			
25	12/12	火	試験返却		○	
26	1/13	火	食品衛生にかかわる活動		○	

27	1/20	火	保健サービスとその活用		○	第３回(2/17)
28	1/27	火	医療サービスとその活用		○	
29	2/3	火	医薬品の制度とその活用		○	
30	2/10	火	さまざまな保健活動や社会的対策		○	
31	2/17	火	健康に関する環境づくりと社会参加	○		
32	2/24	火	レポート添削指導			
33	3/3	火	期末試験			
34	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ（2 年）	単位数：3 単位 ［標準単位：3 単位］	年間	石川　賢一郎

指導目標

外国語科目の目標として外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やりとり］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」の言語活動を通して、情報や考えを的確に理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成が学習の目標とします。「聞くこと」でも「読むことでも」言語活動を通して外国語を学ぼうとする気持ちや知識や外国語の文化への関心を高めていきます。

1. 平易な英語を聞き取り、その応答ができること。
2. 平易な英語を正しい発音、イントネーションで発音できること。
3. 平易な英文を読み、内容を理解できること。
4. 平易な英語を使って表現できること。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　24 回 講　義　：　16 回	教科書	東京書籍 All Aboard! English Communication
レポート	全 9 回	添削指導：　9 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	旺文社　グリーン・プレップイングリッシュ 自校作成の PP 東京書籍　コーパス１８００
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート（締切期日）
1	4/15	火	Review①　文型についての復習①		○	第 1 回(5/8)
2	4/16	水	Review②　文型についての復習②	○		
3	4/22	火	Review③　文法（不定詞、動名詞）復習	○		
4	4/24	木	Lesson6 A Funny Picturefrom Edo Period ①	○		
5	5/8	木	Lesson6 A Funny Picturefrom Edo Period ②		○	
6	5/13	火	Lesson6 A Funny Picturefrom Edo Period ③［添削指導1］			
7	5/15	木	文法のまとめ 受動態①		○	第 2 回(5/28)
8	5/20	火	文法のまとめ 受動態②	○		
9	5/22	木	リスニング（内容理解）、スピーキング［言語活動］		○	
10	5/27	火	ライティング（スピーチ原稿）発表［言語活動］	○		
11	5/29	木	Lesson7 A Diary of Hope①	○		第 3 回(6/20)
12	6/3	火	Lesson7 A Diary of Hope②			
13	6/5	木	Lesson7 A Diary of Hope③［添削指導2］		○	
14	6/10	火	Lesson7 A Diary of Hope④	○		
15	6/12	木	文法まとめ　比較級・最上級　①	○		
16	6/17	火	文法まとめ　比較級・最上級　②	○		
17	6/19	木	リスニング　スピーキング	○		
18	6/24	火	ライティング　発表　［添削指導3］			
19	6/26	火	文法のまとめ		○	第 4 回(9/3)
20	6/30	月	１学期定期試験（期末）			
21	8/26	火	Lesson8 A Door to a New Life【SDGs】①		○	
22	8/28	木	Lesson8 A Door to a New Life【SDGs】②	○		
23	9/2	火	Lesson8 A Door to a New Life【SDGs】③	○		
24	9/16	火	Lesson8 A Door to a New Life【SDGs】④［添削指導4］			
25	9/18	木	文法のまとめ　現在完了形①		○	第 5 回(10/7)
26	9/25	木	文法のまとめ　現在完了形②	○		

27	10/2	火	リスニング　スピーキング	○		
28	10/7	火	**2 学期中間試験**			
29	10/16	木	ライティング　練習		○	
30	10/21	火	Lesson9 Fighting Plastic Pollution【SDGs】①			第 6 回(11/7)
31	10/23	木	Lesson9 Fighting Plastic Pollution【SDGs】②	○		
32	10/28	火	Lesson9 Fighting Plastic Pollution【SDGs】③	○		
33	11/6	木	Lesson9 Fighting Plastic Pollution【SDGs】④	○		
34	11/11	火	文法まとめ　分詞（現在分詞、過去分詞）①		○	
35	11/13	木	文法まとめ　分詞（現在分詞、過去分詞）②［添削指導６］			
36	11/18	火	リスニング（内容理解）スピーキング		○	第 7 回(12/3)
37	11/20	木	ライティング　発表	○		
38	11/25	火	Activity　Express！［言語活動］SDGs①　発表		○	
39	11/27	木	Activity　Express！［言語活動］SDGs②　発表	○		
40	12/3	水	２学期定期試験（期末）			
41	1/8	木	Lesson9 Food Waste　【SDGs】①			第 8 回(1/28)
42	1/13	火	Lesson9 Food Waste　【SDGs】②		○	
43	1/15	木	Lesson9 Food Waste　【SDGs】③	○		
44	1/20	火	Lesson9 Food Waste　【SDGs】④［添削指導７］	○		
45	1/22	木	文法まとめ　比較①		○	
46	1/27	火	文法まとめ　比較②　／　リスニング	○		
47	1/29	木	Lesson10 Pigs from across the Sea ①			
48	2/3	火	Lesson10 Pigs from across the Sea②		○	第 9 回(2/25)
49	2/12	木	Lesson10 Pigs from across the Sea③		○	
51	2/17	火	Lesson10 Pigs from across the Sea④［添削指導８］	○		
51	2/19	木	文法まとめ　関係代名詞①	○		
52	2/24	火	文法まとめ　関係代名詞②　［添削指導９］			
53	3/2	月	３学期定期試験（学年末）			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
情報	情報Ⅰ	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	岡本　裕樹

指導目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　12回 講　義　：　31回	教科書	実教出版　図説 情報Ⅰ
レポート	全6回	添削指導：　6回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	序章①情報と情報社会の特徴、ガイダンス		○	第1回(5/9)
2	4/17	木	②情報化の進展と情報技術		○	
3	4/22	火	③情報社会における個人の責任		○	
4	4/24	木	１章１節①問題解決の手順		○	
5	5/1	木	②情報の収集と整理		○	
6	5/8	木	③情報の分析	○		
7	5/13	火	２節①情報の管理と保護（添削指導）			
8	5/15	木	②知的財産権と産業財産権		○	第2回(5/30)
9	5/20	火	③著作権	○		
10	5/22	木	３節①認証とパスワード		○	
11	5/27	火	②情報の暗号化		○	
12	5/29	木	③コンピュータウイルスと対策	○		
13	6/3	火	２章１節①メディアの機能と特性（添削指導）			
14	6/10	火	②メディアリテラシー	○		第3回(6/25)
15	6/12	木	２節①効果的なコミュニケーション		○	
16	6/17	火	②インターネット上のコミュニケーション		○	
17	6/19	木	３節①情報デザインの考え方		○	
18	6/24	火	②表現の工夫	○		
19	6/26	木	４節①コンテンツ設計（添削指導）			
20	6/30	月	期末試験			
21	7/9	水	試験返却		○	
22	8/26	火	②スライド制作と発表		○	第4回(10/1)
23	8/28	木	３章１節①デジタル表現の特徴		○	
24	9/2	火	②２進数と情報量	○		
25	9/4	木	２節①数値の表現		○	

26	9/16	火	②文字のデジタル表現		○	
27	9/18	木	③音の表現		○	
28	9/25	木	④画像の表現		○	
29	9/30	火	⑤動画の表現とファイル形式	○		
30	10/2	木	３節①さまざまな情報機器（添削指導）			
31	10/7	火	中間試験			
32	10/14	火	試験返却		○	
33	10/16	木	②ハードウェアとソフトウェア		○	第５回(11/12)
34	10/21	火	４章１節①アルゴリズム	○		
35	10/23	木	②アルゴリズムの基本構造		○	
36	10/28	火	２節①簡単なプログラムの作成	○		
37	10/30	木	②プログラムと変数		○	
38	11/6	木	３節①配列とリスト		○	
39	11/13	木	②関数	○		
40	11/20	木	５章１節①モデル化の基礎（添削指導）			
41	11/27	木	②モデル化（図的モデル）		○	第６回(1/21)
45	12/3	水	期末試験			
46	12/12	金	試験返却		○	
42	1/8	木	２節①シミュレーションの基礎		○	
43	1/15	木	②シミュレーション（確定的モデル）		○	
44	1/22	木	③シミュレーション（確率的モデル）		○	
47	1/29	木	３節①データの収集		○	
48	2/5	木	②データの分析	○		
49	2/12	木	６章１節ネットワークの仕組み（添削指導）			
51	2/19	木	２節情報システムとサービス		○	
51	2/26	木	３節情報セキュリティ	○		
52	3/2	月	期末試験			
53	3/11	水	試験返却		○	

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	簿記（2 年）	単位数：4 単位 ［標準単位：8 単位］	年間	田島　寛徳

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

（2）取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。

（3）企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全 70 回	面接指導：　16 回 講　義　：　42 回	教科書	実教出版　高校簿記
レポート	全 8 回	添削指導：　8 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　2 回 ３学期　：　1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	【ガイダンス】（授業の進め方、評価、検定など）		○	第 1 回(5/21)
2	4/16	水	【基礎簿記範囲】勘定科目、計算公式、取引 8 要素、仕訳の仕方（復習）	○		
3	4/22	火	【３級範囲】勘定科目、取引１０要素		○	
4	4/23	水	【計算公式】計算問題（基礎簿記・復習）		○	
5	5/7	火	【計算公式】計算問題（３級）①		○	
6	5/13	火	【計算公式】計算問題（３級）②	○		
7	5/14	水	【商品売買の記帳】３分法①		○	
8	5/20	火	【商品売買の記帳】３分法②		○	
9	5/21	水	【商品売買の記帳】３分法③〔添削指導〕			
10	5/27	火	【商品売買の記帳】商品有高帳（先入先出法）①		○	第 2 回(6/25)
11	5/28	水	【商品売買の記帳】商品有高帳（先入先出法）②		○	
12	6/3	火	【商品売買の記帳】商品有高帳（先入先出法）③	○		
13	6/4	水	【手形取引の記帳】約束手形①		○	
14	6/10	火	【手形取引の記帳】約束手形②		○	
15	6/11	水	【固定資産の記帳】固定資産の取得・売却			
16	6/17	火	【その他の債権・債務の記帳】		○	
17	6/18	水	【その他の債権・債務の記帳】		○	
18	6/24	火	【その他の債権・債務の記帳】	○		
19	6/25	水	１学期のまとめ〔添削指導〕			
20	6/30	月	１学期期末試験			
21	8/26	火	【その他の債権・債務の記帳】		○	第 3 回(10/1)
22	8/27	水	【その他の債権・債務の記帳】		○	
23	9/2	火	【販売費及び一般管理費の記帳】		○	
24	9/3	水	【有価証券とその他の手形取引の記帳】		○	
25	9/16	火	【決算】決算整理①		○	
26	9/17	水	【決算】決算整理②	○		

27	9/24	水	【決算】精算表①		○	
28	9/30	火	【決算】精算表②	○		
29	10/1	水	【決算】精算表③〔添削指導〕			
30	10/7	火	２学期中間試験			
31	10/14	火	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成①		○	第４回(11/5)
32	10/15	水	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成②		○	
33	10/21	火	【決算】損益計算書と貸借対照表の作成③	○		
34	10/22	水	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票制①		○	
35	10/23	木	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票制②		○	
36	10/28	火	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票制③	○		
37	10/29	水	仕訳の復習		○	
38	11/5	水	計算の復習〔添削指導〕		○	
39	11/6	木	各種帳簿の復習		○	第５回(11/26)
40	11/11	火	決算の復習		○	
41	11/12	水	簿記検定３級範囲のまとめ①		○	
42	11/18	火	簿記検定３級範囲のまとめ②	○		
43	11/19	水	簿記検定３級範囲のまとめ③		○	
44	11/25	火	簿記検定３級範囲のまとめ④	○		
45	11/26	水	２学期のまとめ〔添削指導〕			
46	12/3	水	２学期期末試験			
47	1/8	木	【計算公式】計算公式（２級）		○	第６回(1/22)
48	1/9	金	【計算公式】計算問題（２級）①		○	
49	1/13	火	【計算公式】計算問題（２級）②		○	
50	1/14	水	【計算公式】計算問題（２級）③	○		
51	1/15	木	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票の集計と転記①		○	
52	1/20	火	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票の集計と転記②		○	
53	1/21	水	【仕訳伝票と３伝票制】３伝票の集計と転記③	○		
54	1/22	木	計算と各種帳簿の復習〔添削指導〕			
55	1/27	火	【商品売買の記帳】商品有高帳（移動平均法）①		○	第７回(2/10)
56	1/28	水	【商品売買の記帳】商品有高帳（移動平均法）②		○	
57	1/29	木	【商品売買の記帳】商品有高帳（移動平均法）③		○	
58	1/30	金	【商品売買の記帳】商品有高帳（移動平均法）④	○		
59	2/3	火	【２級範囲】勘定科目		○	
60	2/4	水	【本支店間の取引】		○	
61	2/5	木	【決算整理】費用・収益の繰り延べと見越し①	○		
62	2/10	火	【決算整理】費用・収益の繰り延べと見越し②〔添削指導〕			
63	2/12	木	【固定資産の売却】		○	第８回(2/26)
64	2/17	火	【剰余金の処分に関する記帳】		○	
65	2/18	水	【剰余金の処分に関する記帳】	○		
66	2/19	木	【電子記録債権および債務に関する記帳】		○	
67	2/24	火	【電子記録債権および債務に関する記帳】	○		
68	2/25	水	【株式会社の税金の記帳】		○	
69	2/26	木	３学期のまとめ〔添削指導〕			
70	3/2	月	学年末試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	情報処理（2 年）	単位数：3 単位 ［標準単位：6 単位］	年間	鈴木　　文

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
2. 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
3. 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　12 回 講　義　：　32 回	教科書	実教出版　情報処理
レポート	全 6 回	添削指導：　6 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 2・準 2 級編 情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 3・　4 級編
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス　情報処理の重要性【情報の意義と役割】		○	第 1 回(5/15)
2	4/17	木	情報処理の重要性【情報システム】		○	
3	4/22	火	関数を利用した表の作成【データの入力と計算式の設定】		○	
4	4/24	木	【情報の意義と役割　情報システム】ウェブテスト①	○		
5	5/3	木	関数を利用した表の作成【データの入力と計算式の設定】		○	
6	5/8	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(1)】		○	
7	5/13	火	情報処理の重要性【ビジネスとコンピュータ】		○	
8	5/15	木	情報モラルと法規【情報社会の価値とモラル】		○	
9	5/20	火	関数を利用した表の作成【算術・比較演算子】（添削指導）			
10	5/22	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(1)】		○	第 2 回(6/19)
11	5/27	火	【ビジネスとコンピュータ　情報社会の価値とモラル】ウェブテスト②	○		
12	5/29	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(1)】		○	
13	6/3	火	関数を利用した表の作成【基本的な関数(1)】		○	
14	6/10	火	情報モラルと法規【情報社会と法規　個人情報の保護】		○	
15	6/12	木	情報モラルと法規【知的財産の保護】		○	
16	6/17	火	関数を利用した表の作成【基本的な関数(1)】		○	
17	6/19	木	【情報社会と法規　個人情報の保護　知的財産の保護】ウェブテスト③	○		
18	6/24	火	関数を利用した表の作成【情処検定3級レベル対応実技テスト】	○		
19	6/26	木	情報モラルと法規【著作権の侵害①】（添削指導）			
20	6/30	月	１学期定期試験			
21	8/26	火	コミュニケーションと情報デザイン【情報デザインの重要性】		○	第 3 回(10/14)
22	8/28	木	コミュニケーションと情報デザイン【情報デザインの影響と効果】		○	
23	9/2	火	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
24	9/16	火	【情報デザインの重要性　情報デザインの影響と効果】ウェブテスト④	○		

25	9/18	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
26	9/25	木	コンピュータシステムの概要【ハードウェア①】		○	
27	10/2	木	コンピュータシステムの概要【ハードウェア②】		○	
28	10/14	火	コンピュータシステムの概要【ハードウェア③】		○	
29	10/16	木	関数を利用した表の作成【情処検定準2級レベル対応実技テスト】	○		
30	10/21	火	コンピュータシステムの概要【マウス・タッチパネル等の操作】（添削指導）			
31	10/23	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
32	10/28	火	【ハードウェア①②】ウェブテスト⑤	○		
33	10/30	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
34	11/6	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
35	11/11	火	コンピュータシステムの概要【ソフトウェア】		○	第４回(11/20)
36	11/13	木	【ハードウェア③ ソフトウェア】ウェブテスト⑥	○		
37	11/18	火	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
38	11/20	木	関数を利用した表の作成【情処検定4級～2級レベル対応実技テスト】	○		
39	11/25	火	情報モラルと法規【著作権の侵害②】（添削指導）			
40	12/3	水	２学期定期試験			
41	1/13	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【情報通信ネットワークの構成】		○	
42	1/15	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【ネットワークのしくみ】		○	
43	1/20	火	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	
44	1/22	木	【情報通信ネットワークの構成 ネットワークのしくみ】ウェブテスト⑦	○		第５回(1/15)
45	1/27	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【インターネットのしくみ】		○	
46	1/29	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【ドメイン等】（添削指導）			
47	2/3	火	情報通信ネットワークのしくみと構成【セキュリティ管理の重要性】		○	
48	2/5	木	情報通信ネットワークのしくみと構成【セキュリティの管理】		○	
49	2/12	木	【インターネットのしくみ セキュリティ管理の重要性 セキュリティの管理】ウェブテスト⑧	○		
50	2/19	木	関数を利用した表の作成【基本的な関数(2)】 グラフの作成【基本的なグラフの作成】		○	第６回(2/19)
51	2/24	火	関数を利用した表の作成【情処検定4級～2級レベル対応実技テスト】	○		
52	2/26	木	情報セキュリティの確保【啓発ポスターを考える】（添削指導）			
53	3/2	月	３学期定期試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	日本語ワープロ(2 年)	単位数：2 単位 ［標準単位：5 単位］	年間	榎本　　悠

指導目標
1. パソコン全般に関する幅広い知識と操作技術を習得する。
2. 文章を正しく読み、パソコンの入力技術を意識しながら練習を行い、入力速度の向上を図る。
3. 情報モラルについて正しい知識を習得すると共に、問題の発見、解決に向けて自分の考えを表現できるようにする。
4. ビジネス文書の構成に関する知識と作製技術を習得する。
5. 日本語ワープロ検定と文書デザイン検定を習得する。

スクーリング	全 35 回	面接指導：　8 回 講　義　：20 回	教科書	なし
レポート	全 4 回	添削指導：　4 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	自校作成のプリント
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス		○	第 1 回(5/30)
2	4/22	火	速度文、通信文（3 級）①		○	
3	4/25	金	速度文、通信文（3 級）②		○	
4	5/ 8	木	速度文、通信文（3 級）③		○	
5	5/13	火	速度文、通信文（3 級）④		○	
6	5/23	金	速度文、通信文（3 級）⑤	○		
7	5/30	金	速度文、通信文（準 2 級）①		○	
8	6/13	金	ＰＣの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り①（添削指導）			
9	6/19	木	速度文、通信文（準 2 級）②		○	第 2 回(9/19)
10	6/30	月	**期末試験**			
11	8/26	火	速度文、通信文（準 2 級）③	○		
12	9/2	火	速度文、通信文（準 2 級）④		○	
13	9/5	金	速度文、通信文（準 2 級）⑤	○		
14	9/12	金	速度文、通信文（2 級）①		○	
15	9/19	金	速度文、通信文（2 級）②		○	
16	9/22	月	ＰＣの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り②（添削指導）			
17	9/25	木	速度文、通信文（2 級）③	○		第 3 回(11/7)
18	10/3	金	速度文、通信文（2 級）④		○	
19	10/14	火	速度文、通信文（2 級）⑤	○		
20	10/21	火	速度文、通信文（準 1 級）、文書デザイン（3 級）①		○	
21	11/7	金	速度文、通信文（準 1 級）、文書デザイン（3 級）②		○	
22	11/11	火	速度文、通信文（準 1 級）、文書デザイン（3 級）③		○	
23	11/14	金	速度文、通信文（準 1 級）、文書デザイン（3 級）④		○	
24	11/18	火	ＰＣの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り③（添削指導）			

25	11/28	金	速度文、通信文（準１級）、文書デザイン（3 級）⑤	○		第４回(2/17)
26	12/3	水	**期末試験**			
27	1/ 9	金	速度文、通信文（1 級）、文書デザイン（2 級）①		○	
28	1/16	金	速度文、通信文（1 級）、文書デザイン（2 級）②		○	
29	1/22	木	速度文、通信文（1 級）、文書デザイン（2 級）③		○	
30	1/30	金	速度文、通信文（1 級）、文書デザイン（2 級）④		○	
31	2/3	火	速度文、通信文（1 級）、文書デザイン（2 級）⑤	○		
32	2/13	金	速度文、通信文（段位）、文書デザイン（1 級）①		○	
33	2/17	火	速度文、通信文（段位）、文書デザイン（1 級）②	○		
34	2/24	火	ＰＣの操作技術、ビジネス用語、自己評価と振り返り④（添削指導）			
35	3/2	月	**期末試験**			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
国語	国語表現（3年）	単位数：3単位 ［標準単位：4単位］	年間	木下　久美子

指導目標
言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	大修館書店　国語表現
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ガイダンス		○	第1回(5/1)
2	4/17	木	自分を見つめて①		○	
3	4/22	火	自分を見つめて②		○	
4	4/24	木	効果的な自己ＰＲ①		○	
5	5/1	木	効果的な自己ＰＲ②	○		
6	5/8	木	効果的な自己ＰＲ③（添削指導）			
7	5/13	火	将来の自分を考えよう①		○	第2回(5/27)
8	5/15	木	将来の自分を考えよう②		○	
9	5/20	火	志望理由を書こう①		○	
10	5/22	木	志望理由を書こう②		○	
11	5/27	火	志望理由を書こう③	○		
12	5/29	木	自己推薦書や学修計画書を書く①（添削指導）			
13	6/3	火	自己推薦書や学修計画書を書く②		○	第3回(6/19)
14	6/10	火	自己推薦書や学修計画書を書く③		○	
15	6/12	木	面接にチャレンジ①		○	
16	6/17	火	面接にチャレンジ②		○	
17	6/19	木	面接にチャレンジ③	○		
18	6/24	火	面接にチャレンジ④（添削指導）			
19	6/26	木	グループディスカッションをしよう①		○	第4回(8/28)
20	6/30	月	**期末試験**			
21	8/26	火	グループディスカッションをしよう②		○	
22	8/28	木	グループディスカッションをしよう③		○	
23	9/2	火	グループディスカッションをしよう④（添削指導）			
24	9/4	木	通信文を書き分ける①		○	
25	9/9	火	通信文を書き分ける②		○	第5回(9/18)
26	9/11	木	通信文を書き分ける③		○	

27	9/16	火	電話を使いこなす①		○	
28	9/18	木	電話を使いこなす②		○	
29	9/25	木	電子メールを活用しよう①（添削指導）			
30	9/30	火	電子メールを活用しよう②		○	第６回(10/16)
31	10/2	木	ネット社会との付き合い方①		○	
32	10/7	火	**中間試験**			
33	10/14	火	ネット社会との付き合い方②		○	
34	10/16	木	ネットを活用した情報収集①		○	
35	10/21	火	ネットを活用した情報収集②（添削指導）			
36	10/23	木	メディアと情報①		○	第７回(11/11)
37	10/28	火	メディアと情報②		○	
38	10/30	木	相手や場面に応じた会話①		○	
39	11/6	木	相手や場面に応じた会話②	○		
40	11/11	火	建設的な議論の進め方①	○		
41	11/13	木	建設的な議論の進め方②（添削指導）			
42	11/18	火	スピーチをしよう①		○	第８回(11/25)
43	11/20	木	スピーチをしよう②		○	
44	11/25	火	プレゼンテーションの工夫①		○	
45	12/2	火	プレゼンテーションの工夫②（添削指導）			
46	12/3	水	**期末試験**			
47	1/13	火	プレゼンテーションの工夫③	○		
48	1/15	木	言葉で遊ぶ		○	第９回(1/27)
49	1/20	火	無人島で生き残れ		○	
50	1/22	木	日常生活の正しい過ごし方		○	
51	1/27	火	エッセイを書こう①		○	
52	1/29	木	エッセイを書こう②（添削指導）			
53	2/3	火	**期末試験**			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
地理歴史	歴史総合	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	榊原　利信

指導目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を探求したり解説したりする活動を通して広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
2. 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
3. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

スクーリング	全51回	面接指導：　6回 講　義　：32回	教科書	実教出版　歴史総合
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	歴史を学ぶための基礎知識		○	第1回(5/8)
2	4/17	木	近代化への問い		○	
3	4/22	火	１７世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出		○	
4	4/24	木	江戸時代の日本と東アジア秩序の変動	○		
5	5/ 8	木	江戸時代の生産・流通と諸改革		○	
6	5/13	火	幕政の改革と東アジア世界（添削指導）			
7	5/15	木	イギリス産業革命とアメリカ独立戦争		○	第2回(5/27)
8	5/20	火	フランス革命とウィーン体制		○	
9	5/22	木	アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立		○	
10	5/27	火	オスマン帝国の衰退とロシア		○	
11	5/29	木	アヘン戦争の衝撃と日本の開国	○		
12	6/ 3	火	江戸幕府の滅亡（添削指導）			
13	6/10	火	イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一		○	第3回(6/26)
14	6/12	木	明治政府の諸改革		○	
15	6/17	火	日本のアジア外交と国境問題		○	
16	6/19	木	自由民権運動と大日本帝国憲法		○	
17	6/24	火	帝国主義の時代へ	○		
18	6/26	木	朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争		○	
19	6/27	金	日清戦争後の東アジア（添削指導）			
20	6/30	月	１学期定期試験			

21	8/28	木	日露戦争と東アジアの変動		○	第４回(9/4)
22	9/ 2	火	日本の産業革命		○	
23	9/ 4	木	第一次世界大戦		○	
24	9/9	火	ロシア革命とソ連の成立（添削指導）			
25	9/11	木	米騒動とデモクラシー		○	第５回(9/25)
26	9/16	火	ヴェルサイユ体制とワシントン体制		○	
27	9/18	木	アジアの民族運動	○		
28	9/25	木	第一次世界大戦後の欧米諸国		○	
29	9/30	火	ひろがる社会運動と普通選挙の実現（添削指導）			
30	10/ 2	木	世界恐慌と各国の対応		○	第６回(10/16)
31	10/7	火	２学期定期試験			
32	10/14	火	ファシズムの時代		○	
33	10/16	木	満州事変と軍部の台頭		○	
34	10/21	火	日中戦争と戦時体制（添削指導）			
35	10/28	火	第二次世界大戦の勃発		○	第７回(11/6)
36	10/30	木	第二次世界大戦の終結	○		
37	11/ 6	木	国際連合の成立と冷戦		○	
38	11/11	火	日本占領と日本国憲法（添削指導）			
39	11/13	木	朝鮮戦争と日本		○	第８回(11/25)
40	11/18	火	植民地の独占		○	
41	11/20	木	米ソ両陣営の動揺		○	
42	11/25	火	日本の国際社会復帰と高度経済成長		○	
43	12/2	火	石油危機と世界経済		○	
44	12/3	水	２学期定期試験			
45	1/13	火	緊張緩和から冷戦の終息へ（添削指導）			
46	1/15	木	日本の経済大国化		○	第９回(1/27)
47	1/20	火	地域紛争と対立、国際秩序の変容		○	
48	1/22	木	グローバル化のなかの日本、持続可能な社会をめざして	○		
49	1/27	火	現代的な諸課題の形成と展望		○	
50	1/29	木	「不戦条約を新たに作ってみる」というテーマで考えてみよう（添削指導）			
51	2/ 3	火	３学期定期試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
数学	数学A	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	黒沼　佐和子

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
3. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：　6回 講　義　：34回	教科書	NEXT 数学A（数研出版）
レポート	全9回	添削指導：　9回 その他　：　0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1回 ２学期　：　2回 ３学期　：　1回	副教材	新課程　新高校の数学A対応 教科書学習ノート　数学A
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	ガイダンス		○	第1回(4/25)
2	4/15	火	集合の要素の個数		○	
3	4/17	木	集合の要素の個数		○	
4	4/22	火	場合の数		○	
5	4/25	金	場合の数	○		
6	5/9	金	場合の数（添削指導）			
7	5/13	火	順列		○	第2回(5/27)
8	5/16	金	順列		○	
9	5/20	火	順列		○	
10	5/23	金	順列		○	
11	5/27	火	組合せ	○		
12	5/30	金	組合せ（添削指導）			
13	6/3	火	組合せ		○	第3回(6/17)
14	6/6	金	組合せ		○	
15	6/10	火	組合せ		○	
16	6/13	金	組合せ		○	
17	6/17	火	事象と確率	○		
18	6/20	金	事象と確率（添削指導）			
19	6/24	火	事象と確率		○	第4回(8/26)
20	6/27	金	確率の基本性質		○	
21	7/1	火	**期末試験**		○	
22	8/26	火	確率の基本性質			
23	8/29	金	確率の基本性質（添削指導）			
24	9/2	火	独立な試行と確率		○	
25	9/5	金	独立な試行と確率		○	第5回(9/16)
26	9/9	火	独立な試行と確率		○	

27	9/12	金	条件付き確率		○	
28	9/16	火	期待値		○	
29	9/19	金	章末問題（添削指導）			
30	9/26	金	三角形の角の二等分線と辺の比		○	第６回(10/14)
31	9/30	火	三角形の外心・内心・重心		○	
32	10/3	金	三角形の外心・内心・重心	○		
33	10/7	火	**中間試験**			
34	10/14	火	チェバの定理・メネラウスの定理		○	
35	10/17	金	円に内接する四角形（添削指導）			
36	10/21	火	円と直線		○	第７回(11/7)
37	10/24	金	２つの円		○	
38	10/28	火	作図		○	
39	10/31	金	直線と平面	○		
40	11/7	金	多面体		○	
41	11/11	火	多面体（添削指導）			
42	11/14	金	章末問題		○	第８回(11/28)
43	11/18	火	約数と倍数		○	
44	11/21	金	素数と素因数分解		○	
45	11/28	金	最大公約数・最小公倍数	○		
46	12/2	火	整数の割り算（添削指導）			
47	12/5	金	**期末試験**			
48	1/14	火	ユークリッドの互除法		○	第９回(1/27)
49	1/16	金	１次不定方程式		○	
51	1/20	火	記数法		○	
51	1/27	火	座標の考え方		○	
52	1/30	金	ゲーム・パズルの中の数学（添削指導）			
53	2/3	火	**期末試験**			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
保健体育	体育（3年）	単位数：3単位 ［標準単位：7単位］	年間	伊藤　和崇

指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：30回 講　義　：17回	教科書	現代高等保健体育　【大修館書店】
レポート	全3回	添削指導：3回 その他　：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：1回 ２学期　：1回 ３学期　：1回	副教材	アクティブスポーツ２０２３ 【大修館書店】
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/16	水	集団行動	○		第1回(6/25)
2						
3	4/23	水	体つくり運動	○		
4				○		
5	5/7	水	スポーツの始まりと変遷		○	
6	5/9	金	スポーツが経済に及ぼす効果		○	
7	5/14	水	ソフトボール		○	
8				○		
9	5/21	水	ソフトボール	○	○	
10				○		
11	5/28	水	ソフトボール（実技試験①）	○		
12						
13	5/30	金	スポーツにおける技能と体力		○	
14	6/6	金	スポーツにおける技術と戦術		○	
15	6/11	水	ソフトボール	○	○	
16				○		
17	6/18	水	ソフトボール（実技試験②）	○		
18				○		
19	6/25	水	ソフトボール			
20	6/27	金	ソフトボール（添削指導）			
21	6/30	月	１学期期末試験			
22	7/9	水	試験返却			
23	8/27	水	技能の上達過程と練習		○	
24	8/29	金	効果的な動きのメカニズム	○	○	

25	9/3	水	ソフトボール	○		
26				○		
27	9/10	水	ソフトボール	○		
28				○		
29	9/17	水	体力トレーニング		○	
30	9/19	金	運動やスポーツでの安全の確保		○	第２回(11/26)
31	9/26	金	ソフトボール（実技試験③）	○		
32	10/1	水	アルティメット	○	○	
33	10/15	水	アルティメット	○		
34				○	○	
35	10/22	水	アルティメット	○		
36						
37	10/29	水	アルティメット			
38						
39	10/31	金	生涯スポーツの見方・考え方	○	○	
40	11/7	金	ライフスタイルに応じたスポーツ	○	○	
41	11/12	水	アルティメット	○		
42				○		
43	11/19	水	アルティメット	○		
44				○		
45	11/26	水	アルティメット（添削指導）			
46						
47	12/3	水	２学期期末試験			第３回(1/23)
48	12/12	金	試験返却			
49	1/9	金	スポーツを推進する取り組み	○	○	
51	1/16	金	豊かなスポーツライフの創造	○	○	
51	1/21	水	アルティメット	○		
52	1/30	金	アルティメット（添削指導）			
53	2/3	火	３学期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
芸術	書道Ⅰ	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	島　和則

指導目標

書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

スクーリング	全53回	面接指導：24回 講　義　：17回	教科書	光村図書　書Ⅰ
レポート	全9回	添削指導：9回 その他　：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：1回 ２学期　：1回 ３学期　：1回	副教材	高校硬筆の練習(教育出版) 適宜ワークシート、プリントを使用
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	書道で学習すること		○	第1回(5/1)
2	4/17	木	書写から書道へ		○	
3	4/22	火	漢字の書　漢字の変遷とさまざまな書体「篆書」	○		
4	4/24	木	漢字の書「隷書」「草書」	○		
5	5/1	木	漢字の書「行書」「楷書」	○		
6	5/8	木	あなたは、どの楷書が好き？(添削指導)			
7	5/13	火	仮名の書　仮名の書の成立と種類「仮名の筆使い」	○		第2回(5/27)
8	5/15	木	仮名の書「平仮名」「変体仮名」	○		
9	5/20	火	仮名の書「蓬莱切」「高野切第三種」		○	
10	5/22	木	漢字仮名交じりの書「漢字仮名交じりの書とは」	○		
11	5/27	火	漢字仮名交じりの書「心に響く言葉を書く」		○	
12	5/29	木	漢字仮名交じりの書「表現の幅を広げよう」(添削指導)			
13	6/3	火	硬筆学習「硬筆書写の基本」	○		第3回(6/19)
14	6/10	火	硬筆学習「六書について」	○		
15	6/12	木	硬筆書写「楷書実技」		○	
16	6/17	火	硬筆書写「楷書実技」	○		
17	6/19	木	硬筆書写「楷書実技」	○		
18	6/24	火	硬筆書写「行書実技」(添削指導)			
19	6/26	木	硬筆書写「仮名実技」		○	第4回(9/2)
20	6/30	月	期末試験			
21	8/26	火	書写・書道の基本「姿勢」「筆の持ち方・構え方」	○		
22	8/28	木	書写・書道の基本「用具・用材の扱い方」		○	
23	9/2	火	毛筆学習「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」	○		
24	9/4	木	毛筆学習「九成宮醴泉銘」(添削指導)			

25	9/9	火	毛筆書写「九成宮醴泉銘」	○		第５回(9/18)
26	9/11	木	毛筆書写「九成宮醴泉銘」	○		
27	9/16	火	毛筆書写「九成宮醴泉銘」		○	
28	9/18	木	毛筆学習「孔子廟堂碑」		○	
29	9/25	木	毛筆書写「孔子廟堂碑」(添削指導)			
30	9/30	火	毛筆書写「孔子廟堂碑」	○		第６回(10/21)
31	10/2	木	毛筆書写「孔子廟堂碑」	○		
32	10/14	火	毛筆学習「雁塔聖教序」		○	
33	10/16	木	毛筆書写「雁塔聖教序」	○		
34	10/21	火	毛筆書写「雁塔聖教序」	○		
35	10/23	木	毛筆書写「雁塔聖教序」(添削指導)			
36	10/28	火	毛筆学習「顔氏家廟碑」		○	第７回(11/13)
37	10/30	木	毛筆書写「顔氏家廟碑」	○		
38	11/6	木	毛筆書写「顔氏家廟碑」	○		
39	11/11	火	鑑賞を始めよう「唐の四大家の古典についての鑑賞」		○	
40	11/13	木	毛筆学習「牛橛造像記」		○	
41	11/18	火	毛筆学習「鄭羲下碑」(添削指導)			
42	11/20	木	毛筆学習「王羲之」と「蘭亭序」	○		第８回(1/13)
43	11/25	火	毛筆書写「蘭亭序」	○		
44	11/27	木	毛筆書写「蘭亭序」		○	
45	12/2	火	毛筆書写「蘭亭序」		○	
46	12/3	水	期末試験			
47	1/13	火	毛筆書写「蘭亭序」	○		
48	1/15	木	毛筆学習「三筆・三跡の書」(添削指導)			
49	1/20	火	毛筆学習　草書「真草千字文」	○		第９回(1/27)
51	1/22	木	毛筆学習　隷書「曹全碑」		○	
51	1/27	火	毛筆学習　篆書「泰山刻石」		○	
52	1/29	木	毛筆書写「仮名の書」(添削指導)			
53	2/3	火	卒業試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
外国語	論理・表現Ⅰ	単位数：3単位 ［標準単位：2単位］	年間	宇治佳代子

指導目標

外国語科目の目標として、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やりとり］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」の言語活動を通して、情報や考えを的確に理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を学習の目標とします。特にスピーチやプレゼンテーションなどを通じて英語に触れる機会を増やしていくことを目指します。

1. 自ら進んで英語で発信する姿勢の育成。
2. 基本的な語句や文を用いて、文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを伝えあうことができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合うことができる。

スクーリング	全53回	面接指導：24回 講　義　：16回	教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ
レポート	全9回	添削指導：9回 その他　：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：1回 ２学期　：2回 ３学期　：1回	副教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ映像・音声の教材等　／　TARGET1100　／
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/14	月	英語で表現するには①　POINT1・2		○	第1回(5/ 8)
2	4/16	水	英語で表現するには②　POINT3・4	○		
3	4/21	月	英語で表現するには③　POINT5・6	○		
4	4/24	木	Lesson1　初めての食事①		○	
5	5/ 8	木	Lesson1　初めての食事②　［添削指導1］			
6	5/ 12	月	Lesson1　初めての食事③	○		
7	5/15	木	Lesson2　道に迷う①		○	第2回(5/29)
8	5/19	月	Lesson2　道に迷う②	○		
9	5/22	木	Lesson2　道に迷う③	○		
10	5/26	月	Lesson3　人物紹介①		○	
11	5/29	木	Lesson3　人物紹介②　［添削指導2］			
12	6/1	月	Lesson3　人物紹介③	○		
13	6/ 9	月	Lesson4　体調が悪い①		○	第3回(6/23)
14	6/12	木	Lesson4　体調が悪い②	○		
15	6/16	月	Lesson4　体調が悪い③	○		
16	6/19	木	Lesson5　買い物①		○	
17	6/23	月	Lesson5　買い物②　［添削指導3］			
18	6/26	木	Lesson5　買い物③	○		
19	6/30	月	１学期定期試験（期末）		○	第4回(9/ 4)
20	8/25	月	Lesson6　行ってみたいこと①			
21	8/28	木	Lesson6　行ってみたいこと②		○	
22	9/1	月	Lesson6　行ってみたいこと③	○		
23	9/4	木	Lesson6　行ってみたいこと④　［添削指導4］			
24	9/8	月	Lesson7　イベントに誘われる①		○	

25	9/11	木	Lesson7　イベントに誘われる②	○		第５回(10/ 2)
26	9/18	木	Lesson7　イベントに誘われる③	○		
27	9/22	月	［言語活動］(内容理解・ディクテーション)	○		
28	9/25	木	Lesson8　スクールカウンセラーに相談①		○	
29	9/29	月	Lesson8　スクールカウンセラーに相談②	○		
30	10/ 2	木	Lesson8　スクールカウンセラーに相談③　**［添削指導５］**			
31	10/ 6	月	Lesson8　スクールカウンセラーに相談④	○		
32	10/ 7	火	**２学期定期試験（中間）**			第６回(10/27)
33	10/16	木	［言語活動］(内容理解・ディクテーション)	○		
34	10/20	月	Lesson9　お気に入りを紹介①		○	
35	10/23	木	Lesson9　お気に入りを紹介②	○		
36	10/27	月	Lesson9　お気に入りを紹介③　**［添削指導６］**			
37	10/30	木	Lesson9　お気に入りを紹介④	○		
38	11/ 6	木	Lesson9　お気に入りを紹介⑤	○		
39	11/10	月	［言語活動］リスニング（内容理解）		○	第７回(11/20)
40	11/13	木	Lesson10　待ち合わせに遅刻①		○	
41	11/17	月	Lesson10　待ち合わせに遅刻②	○		
42	11/20	木	Lesson10　待ち合わせに遅刻③　**［添削指導７］**			
43	11/27	木	Lesson10　待ち合わせに遅刻④	○		
44	12/ 1	月	Lesson10　待ち合わせに遅刻⑤	○		
45	12/ 3	水	**２学期定期試験（期末）**			
46	1/ 8	木	Lesson11　家庭でのディスカッション①		○	第８回(1/15)
47	1/15	木	Lesson11　家庭でのディスカッション②**［添削指導８］**			
48	1/19	月	Lesson11　家庭でのディスカッション③		○	
49	1/22	木	Lesson11　家庭でのディスカッション④	○		
50	1/26	月	Lesson11　家庭でのディスカッション⑤	○		
51	1/29	木	［言語活動］リスニング（内容理解）		○	第９回(2/2)
52	2/ 2	月	書くこと～１年間のまとめ ～　**［添削指導９］**			
53	2/ 3	火	**３学期定期試験（学年末）**			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	情報処理（3 年）	単位数：3 単位 ［標準単位：6 単位］	年間	山口　大輔

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
2. 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
3. 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全 53 回	面接指導：　12 回 講　義　：　32 回	教科書	実教出版　情報処理
レポート	全 6 回	添削指導：　6 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験（表計算）1～準2級 情報処理技能検定試験（データベース）1～4 級
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	ビジネスと統計（学習内容と目標）		○	第 1 回(5/20)
2	4/17	木	ビジネスと統計（表計算の役割り）		○	
3	4/22	火	表計算ソフトウェアの活用例（Excel の利用）		○	
4	4/24	木	帳票類などの活用例	○		
5	5/ 1	木	グラフや表を利用した分析や報告書の活用例		○	
6	5/ 8	木	スケジュール管理の活用例		○	
7	5/13	火	差し込み印刷を利用した宛名ラベルの作成例		○	
8	5/15	木	分散と標準偏差（範囲・偏差・分散・標準偏差・分析）		○	
9	5/20	火	度数分布表・ヒストグラム（添削指導）			
10	5/22	木	関数を利用した表の作成【データの入力と計算式の設定】		○	第 2 回(6/26)
11	5/27	火	関数を利用した表の作成【入力・列幅・行と列の挿入と削除】	○		
12	5/29	木	関数を利用した表の作成【数値・計算式の入力】		○	
13	6/ 3	火	関数を利用した表の作成【データの修正・複写・罫線】		○	
14	6/10	火	関数を利用した表の作成【表の印刷とページ設定】		○	
15	6/12	木	関数を利用した表の作成【数値・計算式の入力・保存】		○	
16	6/17	火	基本的な関数		○	
17	6/19	木	件数のカウントと条件の判定	○		
18	6/24	火	端数処理（合計の計算）	○		
19	6/26	木	端数処理（端数処理）（添削指導）			
20	6/30	月	１学期定期試験			
21	8/26	火	端数処理（絶対参照）		○	第 3 回(9/25)
22	8/28	木	端数処理（編集と罫線の入力）		○	
23	9/ 2	火	端数処理（表の印刷と保存）		○	
24	9/ 4	木	順位付け（ＲＡＮＫ関数）	○		
25	9/ 9	火	順位付け（伸び率の計算）		○	

26	9/11	木	順位付け（編集と罫線の入力）		○	
27	9/16	火	順位付け（表の印刷と保存）		○	
28	9/18	木	文字列操作（会員番号の取り出し）		○	
29	9/25	木	文字列操作（会員年数の計算・会員グレードの表示）（添削指導）			
30	9/30	火	基本的な関数（表の検索：データベース Access の活用）	○		第４回(10/28)
31	10/ 2	木	表の検索（データの検索）		○	
32	10/14	火	表の検索（金額の計算）	○		
33	10/16	木	行列の検索（INDEX 関数）		○	
34	10/21	火	行列の検索（MATCH 関数）		○	
35	10/23	木	条件付き集計（条件付き関数）		○	
36	10/28	火	条件付き集計（ワイルドカードによる文字列検索）（添削指導）			
37	10/30	木	条件付き集計（条件付き関数）		○	第５回(12/2)
38	11/ 6	木	情報の整列・検索・抽出	○		
39	11/11	火	表計算ソフトウェアのデータベース機能			
40	11/13	木	データの整列	○		
41	11/18	火	データの並べ替え（整列・ソート）		○	
42	11/20	木	データの検索		○	
43	11/25	火	データの置換		○	
44	12/ 2	火	「データの抽出」複数条件の設定（添削指導）			
45	12/ 3	水	２学期定期試験		○	
46	1/13	火	応用文書の作成（計算機能の利用）	○		第６回(1/30)
47	1/15	木	応用文書の作成（ソート機能の利用）		○	
48	1/20	火	表計算とグラフを含んだ文書の作成		○	
49	1/22	木	表現力に富んだ報告書の作成	○		
50	1/27	火	検索と置換・外字・単語登録		○	
51	1/29	木	差し込み印刷	○		
52	1/30	金	段組み印刷・袋とじ印刷・その他の印刷（添削指導）			
53	2/ 3	火	３学期定期試験			

2025 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教　科	科　目		期間	担当者
商業	ネットワーク活用	単位数：2 単位 ［標準単位：2 単位］	年間	中田　義彦

指導目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的 に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
2. ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
3. 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインター ネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

スクーリング	全 35 回	面接指導：　8 回 講　義　：20 回	教科書	ネットワーク活用【実教出版】
レポート	全 4 回	添削指導：　4 回 その他　：　0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	１学期　：　1 回 ２学期　：　1 回 ３学期　：　1 回	副教材	ホームページ作成検定模擬問題集 1, 2, 3, 4 級編【日本情報処理検定協会】
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/15	火	情報技術の進歩とビジネス		○	第 1 回(6/10)
2	4/17	木	ホームページ作成検定４級模擬問題	○	○	
3	4/22	火	情報技術の進歩とビジネス		○	
4	4/24	木	ホームページ作成検定４級模擬問題	○		
5	5/1	木	情報技術の進歩とビジネス		○	
6	5/8	木	ホームページ作成検定３級模擬問題		○	
7	5/13	火	情報技術の進歩とビジネス		○	
8	5/20	火	ホームページ作成検定３級模擬問題		○	
9	5/29	木	情報技術の進歩とビジネス		○	
10	6/10	火	ホームページ作成検定３級模擬問題	○		
11	6/19	木	WEB ページの活用による効果（添削指導）			
12	6/26	木	ホームページ作成検定２級模擬問題		○	
13	6/30	月	１学期期末試験		○	第 2 回(9/11)
14	7/9	水	試験返却		○	
15	8/28	木	インターネットと情報セキュリティ		○	
16	9/4	木	ホームページ作成検定２級模擬問題	○		
17	9/11	木	インターネットと情報セキュリティ		○	
18	9/18	木	ビジネスにおいてインターネットを活用する利点（添削指導）			
19	9/25	木	インターネットと情報セキュリティ	○		
20	10/2	木	ホームページ作成検定２級模擬問題		○	
21	10/14	火	インターネットと情報セキュリティ	○		第 3 回(11/20)
22	10/16	木	ホームページ作成検定１級模擬問題		○	
23	10/23	木	情報コンテンツの制作		○	
24	11/6	木	ホームページ作成検定１級模擬問題		○	

25	11/13	木	情報コンテンツの制作		○	
26	11/20	木	情報コンテンツの制作	○		
27	11/27	木	動画と音声の編集（添削指導）			
28	12/3	水	２学期期末試験			
29	12/12	金	試験返却			
30	1/13	火	インターネットの活用	○		第４回(1/15)
31	1/15	木	インターネットの活用		○	
32	1/22	木	WEB ページのデザイン（添削指導）			
33	1/29	木	インターネットの活用		○	
34	2/3	火	３学期期末試験			
35	2/13	金	試験返却			